工　事 番　号	部　長	課　長	係　長	検 算 者	設 計 者	

設　計　年　度	令　和　7　年　度
施　工　月　日	令 和　年　月　日
施　工　方　法	請　　負
工　事　期　間	

三原東処理分区汚水管新設工事(7-1)仕様書

公共下水道事業

三原市中之町二丁目

仕　様　書

工　事　概　要	施　工　理　由
路線延長(単独)　L=75.5m 管体延長　管渠工φ200　L=73.1m 路線延長(補助)　L=53.0m 管体延長　管渠工φ200　L=48.8m	

三　原　市

特 記 仕 様 書

第1章　総則

第1節　適用

1　本特記仕様書は、三原市中之町二丁目　三原東処理分区汚水管新設工事(7-1)に適用する

2　本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。

・土木工事共通仕様書　令和7年8月　(適用区分「広島」及び「広島県」)

※　土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。

https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/

・下水道土木工事必携(案)　2021年度　公益社団法人日本下水道協会

・下水道用設計指針と設計標準図　平成26年度改訂版　三原市

第2節　検査

三原市工事検査規程の定めるところによる。

第3節　部分引渡し

建設工事契約約款第39条により、本工事の内、部分引渡しの必要が生じた場合は、当該部分の検査を受け部分引渡しを行うこと。

第4節　情報共有システム

本工事は、情報共有システムの対象であり、実施については土木工事共通仕様書1-1-1-26 施工管理「10.工事情報共有化」に従うこと。

第5節　週休2日工事等

本工事は、「発注者指定型」による週休2日工事等の対象工事であり、実施にあたっては「三原市週休2日適用工事等実施要領(土木工事)」に基づき実施するものとする。

第6節　法令及び条例等の遵守

1　次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。

(1)　工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」

(2)　上記(1)の内容について「不測の事態等が生じた場合の対応方法」

(3)　上記(1)、(2)の内容について「現場作業に従事する者に対する周知の方法」

2　「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。

3　「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

第7節　建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1　再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2　計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。
https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3　実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4　工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5　建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。
※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

(1)　工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2)　再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

ア　当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。
イ　当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3)　上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6　運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7　確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8　確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9　建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

(1)　建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
(2)　建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
(3)　建設発生土の搬出元の名称及び所在地
(4)　建設発生土の搬出量
(5)　建設発生土の搬出が完了した日

10　建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11　受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12　受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

13　建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9（1）～（5）に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

(1)　国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
(2)　受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
(3)　ストックヤード運営事業者登録規定により国に登録されたストックヤード
(4)　9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

第2章　施工条件

第1節　用　地

1　借地

あらかじめ近隣住民に借地する目的、作業内容を充分説明し、同意を得て借地すること。

第2節　安全対策

1　交通誘導員

掘削作業期間、交通誘導警備員を（2人／日）配置すること。

第3節　工事用道路

1　一般道路

搬入経路	特に指定なし。ただし通学路のため特段の注意を払うこと。
使用期間	工事施工期間
使用時間	8:30～17:00
工事中・後の処置	随時　清掃、工事後　舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督職員と協議すること。）

第4節　盛土

1　流用土　（工事内流用）

本工事の施工により発生する土のうち、44m3（地山土量）については当該工事の施工に流用するものと見込んでいる。

2　購入土（搬入）　（建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土）

本工事では、36m3（ほぐし）の土砂購入を見込んでいる。

（1）使用する処理土がセメント及びセメント系固化材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。

第5節　建設副産物

1　建設発生土（搬出）

当該工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地に搬出するものとする。

また、積算上の搬出先として、建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる次の施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

搬出場所	シンクコンサルタント株式会社久井町泉再資源化施設

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。

2　産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m2以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。
ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第6節　石綿使用の有無

受注者は、建築物・工作物等の解体・改修工事を行う際、石綿（アスベスト）の使用の有無の「事前調査」を行わなければならない。石綿障害予防規則に基づく一定規模以上の工事にあっては「事前調査結果の報告」を所轄労働基準監督局に届出を行わなければならない。

第7節　管内カメラ調査

下水道管路施設の点検・調査マニュアル（案）（平成25年6月　社団法人日本下水道協会）を準拠すること。、

第8節　その他

1　工事用機資材の仮置き

場所	指定なし
期間	指定なし

第3章　工事損失等

本工事の施工に伴い、通常避けることのできない地盤沈下、振動等により建物等に損害等（以下「工事損失」という。）が発生した場合においては、次のとおりとする。なお、工事損失に伴う補償費用は、設計で現場管理費に見込んでいる。

(1)	原因調査	監督員と協力して行なうものとする。
(2)	補償交渉	監督員と協力して処理解決に当るものとする。
(3)	応急処置	監督員から応急処置を講じる必要があると指示された場合は、直ちに応急処置を講ずるものとする。
(4)	補償費用負担割合	発注者は、工事損失に伴う補償費用のうち、請負代金額の100分の1を超える額を負担する。

第4章　工事保険等

第1節　工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に加入しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提示しなければならない。なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

第5章　その他

本工事内及び近接する地域住民、企業等には工事内容等を十分に周知・調整したうえで、苦情やトラブルのないよう施工に努めること。また、特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費(2676路線単独)					
管路施設(開削工法)		式		1	レベル1
管きょ工(開削)		式		1	レベル2
管路土工		式		1	レベル3
管路掘削		式		1	レベル4
管路埋戻		式		1	レベル4
発生土処理		式		1	レベル4
管布設工		式		1	レベル3
硬質塩化ビニル管	【VUφ200】	m		47.1	レベル4
継手類		箇所		2	レベル4
埋設標識テープ		m		47.1	レベル4
管基礎工		式		1	レベル3
砂基礎	【再生砂】	m		47.1	レベル4
管路土留工		式		1	レベル3
軽量鋼矢板土留		式		1	レベル4
マンホール工		式		1	レベル2
組立マンホール工		式		1	レベル3
組立1号マンホール		箇所		1	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
取付管およびます工		式		1	レベル2
管路土工		式		1	レベル3
管路掘削		式		1	レベル4
管路埋戻		式		1	レベル4
発生土処理		式		1	レベル4
ます設置工		式		1	レベル3
ます(塩化ビニル製)		箇所		4	レベル4
取付管布設工		式		1	レベル3
取付管(硬質塩化ビニル管)		箇所		4	レベル4
付帯工		式		1	レベル2
舗装撤去工		式		1	レベル3
舗装版切断		m		109	レベル4
舗装版破砕		m2		230	レベル4
舗装版破砕(小規模)		m2		5	レベル4
殻運搬処理		m3		11	レベル4
舗装復旧工		式		1	レベル3
不陸整正		m2		134	レベル4
下層路盤(歩道部)		m2		50	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
上層路盤(歩道部)		m2		50	レベル4
表層(車道・路肩部)		m2		180	レベル4
舗装仮復旧工		式		1	レベル3
表層(歩道部)		式		1	レベル4
全工種共通仮設		式		1	レベル1
仮設工		式		1	レベル2
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		人		10	レベル4
＊＊直接工事費＊＊					
運搬費					
運搬費		式		1	レベル2
運搬費		式		1	レベル3
仮設材運搬費		t		3.994	レベル4
技術管理費					
技術管理費		式		1	レベル2
技術管理費		式		1	レベル3
施工調査費		式		1	レベル4
共通仮設費率分					

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費					
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊					
＊＊工事費＊＊					

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費(2676路線補助)					
管路施設(開削工法)		式		1	レベル1
管きょ工(開削)		式		1	レベル2
管路土工		式		1	レベル3
管路掘削		式		1	レベル4
管路埋戻		式		1	レベル4
発生土処理		式		1	レベル4
管布設工		式		1	レベル3
硬質塩化ビニル管	【VUφ200】	m		2.6	レベル4
継手類		箇所		2	レベル4
マンホール削孔接続		箇所		1	レベル4
埋設標識テープ		m		2.6	レベル4
管基礎工		式		1	レベル3
砂基礎	【再生砂】	m		2.6	レベル4
管路土留工		式		1	レベル3
軽量鋼矢板土留		式		1	レベル4
マンホール工		式		1	レベル2
組立マンホール工		式		1	レベル3

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
組立1号マンホール		箇所		1	レベル4
内副管		箇所		1	レベル4
付帯工		式		1	レベル2
舗装撤去工		式		1	レベル3
舗装版切断		m		7	レベル4
舗装版破砕		m2		16	レベル4
殻運搬処理		m3		0.8	レベル4
舗装復旧工		式		1	レベル3
不陸整正		m2		10	レベル4
下層路盤(歩道部)		m2		3	レベル4
上層路盤(歩道部)		m2		3	レベル4
表層(車道・路肩部)		m2		13	レベル4
舗装仮復旧工		式		1	レベル3
表層(歩道部)		式		1	レベル4
全工種共通仮設		式		1	レベル1
仮設工		式		1	レベル2
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		人		1	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
＊＊直接工事費＊＊					
運搬費					
運搬費		式		1	レベル2
運搬費		式		1	レベル3
仮設材運搬費		t		0.582	レベル4
技術管理費					
技術管理費		式		1	レベル2
技術管理費		式		1	レベル3
施工調査費		式		1	レベル4
共通仮設費率分					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費					
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
＊＊消費税相当額＊＊					
＊＊工事費＊＊					

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費（2666,2670路線単独）					
管路施設(開削工法)		式		1	レベル1
管きょ工(開削)		式		1	レベル2
管路土工		式		1	レベル3
管路掘削		式		1	レベル4
管路埋戻		式		1	レベル4
発生土処理		式		1	レベル4
管布設工		式		1	レベル3
硬質塩化ビニル管	【VUφ200】	m		26	レベル4
継手類		箇所		1	レベル4
埋設標識テープ		m		26	レベル4
管基礎工		式		1	レベル3
砂基礎	【再生砂】	m		26	レベル4
マンホール工		式		1	レベル2
小型マンホール工		式		1	レベル3
小型マンホール(塩化ビニル製)		箇所		2	レベル4
取付管およびます工		式		1	レベル2
管路土工		式		1	レベル3

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
管路掘削		式		1	レベル4
管路埋戻		式		1	レベル4
発生土処理		式		1	レベル4
ます設置工		式		1	レベル3
ます(塩化ビニル製)		箇所		4	レベル4
取付管布設工		式		1	レベル3
取付管(硬質塩化ビニル管)		式		4	レベル4
付帯工		式		1	レベル2
舗装撤去工		式		1	レベル3
舗装版切断		m		61	レベル4
舗装版破砕(小規模)		m2		51	レベル4
殻運搬処理		m3		3	レベル4
舗装復旧工		式		1	レベル3
不陸整正		m2		22	レベル4
下層路盤(歩道部)		m2		24	レベル4
上層路盤(歩道部)		m2		15	レベル4
表層(歩道部)		m2		29	レベル4
舗装仮復旧工		式		1	レベル3

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
表層(歩道部)		式		1	レベル4
全工種共通仮設		式		1	レベル1
仮設工		式		1	レベル2
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		人		9	レベル4
＊＊直接工事費＊＊					
技術管理費					
技術管理費		式		1	レベル2
技術管理費		式		1	レベル3
施工調査費		式		1	レベル4
共通仮設費率分					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費					
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊					
＊＊工事費＊＊					

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費（2666,2670路線補助）					
管路施設(開削工法)		式		1	レベル1
管きょ工(開削)		式		1	レベル2
管路土工		式		1	レベル3
管路掘削		式		1	レベル4
管路埋戻		式		1	レベル4
発生土処理		式		1	レベル4
管布設工		式		1	レベル3
硬質塩化ビニル管	【VUφ200】	m		46.2	レベル4
継手類		箇所		10	レベル4
埋設標識テープ		m		46.2	レベル4
管基礎工		式		1	レベル3
砂基礎	【再生砂】	m		46.2	レベル4
管路土留工		式		1	レベル3
軽量鋼矢板土留		式		1	レベル4
マンホール工		式		1	レベル2
組立マンホール工		式		1	レベル3
組立1号マンホール		箇所		1	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
小型マンホール工		式		1	レベル3
小型マンホール(塩化ビニル製)		箇所		4	レベル4
取付管およびます工		式		1	レベル2
管路土工		式		1	レベル3
管路掘削		式		1	レベル4
管路埋戻		式		1	レベル4
発生土処理		式		1	レベル4
ます設置工		式		1	レベル3
ます(塩化ビニル製)		箇所		5	レベル4
取付管布設工		式		1	レベル3
取付管(硬質塩化ビニル管)		式		5	レベル4
付帯工		式		1	レベル2
舗装撤去工		式		1	レベル3
舗装版切断		m		59	レベル4
舗装版破砕(小規模)		m2		80	レベル4
殻運搬処理		m3		4	レベル4
舗装復旧工		式		1	レベル3
不陸整正		m2		32	レベル4

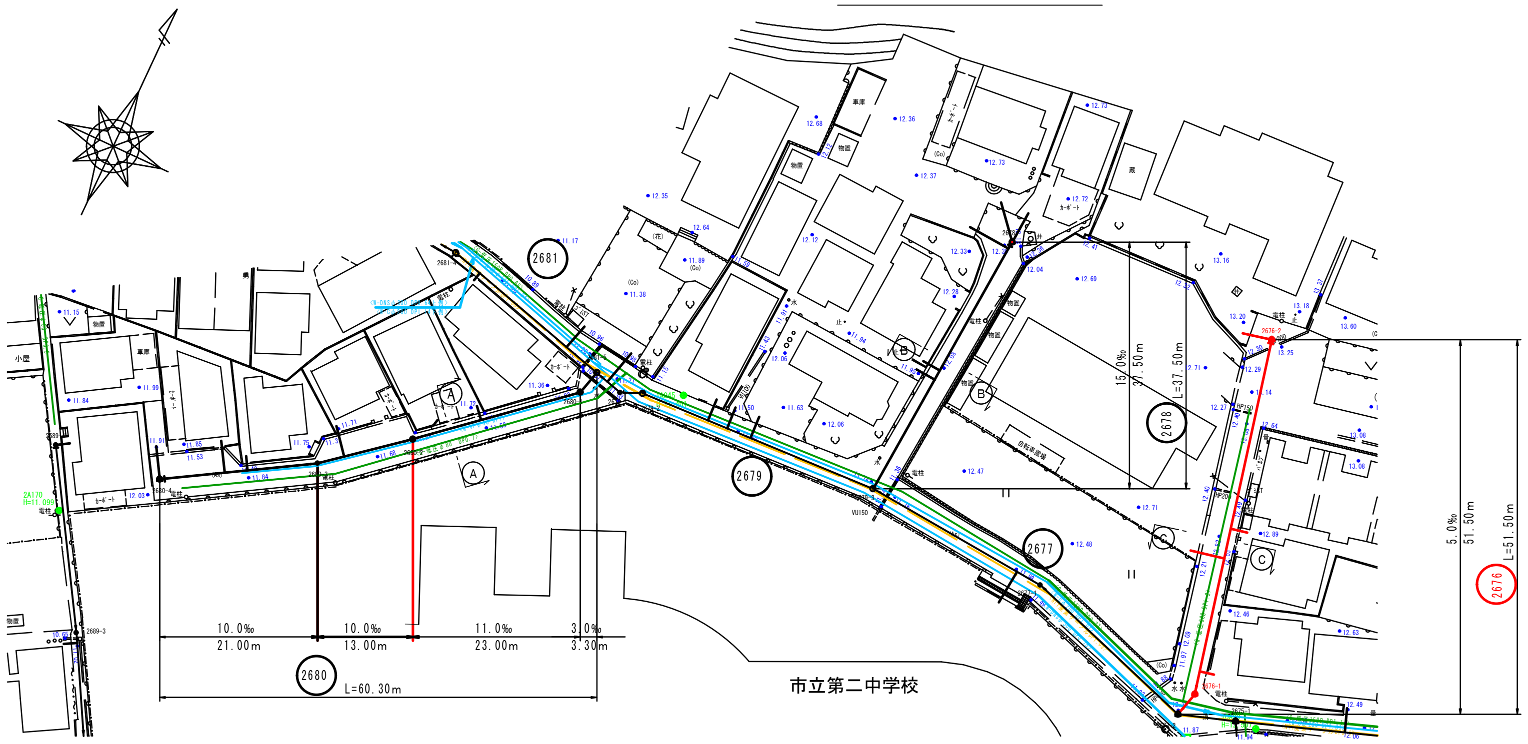
工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
下層路盤(歩道部)		m2		25	レベル4
上層路盤(歩道部)		m2		25	レベル4
表層(歩道部)		m2		53	レベル4
舗装仮復旧工		式		1	レベル3
表層(歩道部)		式		1	レベル4
全工種共通仮設		式		1	レベル1
仮設工		式		1	レベル2
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		人		46	レベル4
＊＊直接工事費＊＊					
運搬費					
運搬費		式		1	レベル2
運搬費		式		1	レベル3
仮設材運搬費		t		1.560	レベル4
技術管理費					
技術管理費		式		1	レベル2
技術管理費		式		1	レベル3
施工調査費		式		1	レベル4

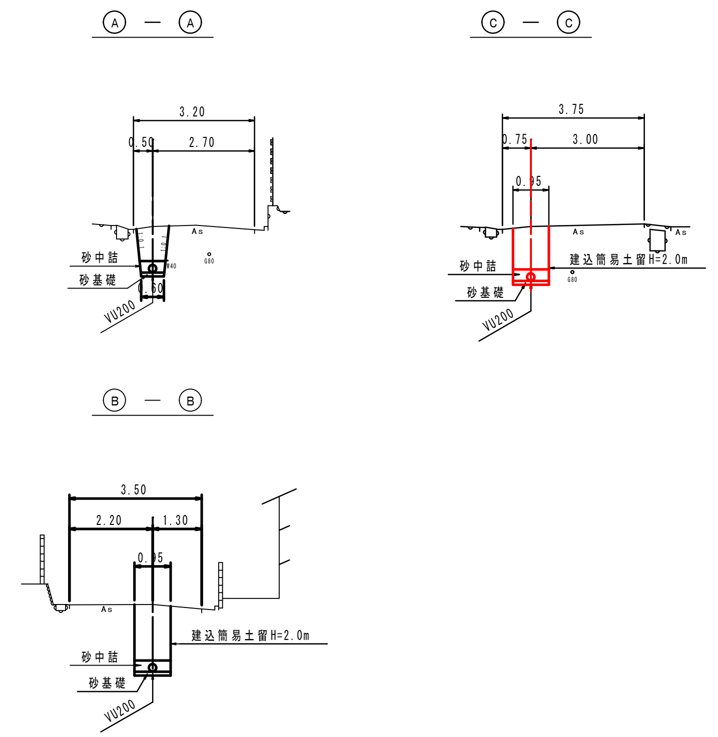
工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
共通仮設費率分					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費					
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊					
＊＊工事費＊＊					
＊＊工事費計＊＊					
＊＊契約保証費計＊＊					

平　面　図 S=1:500



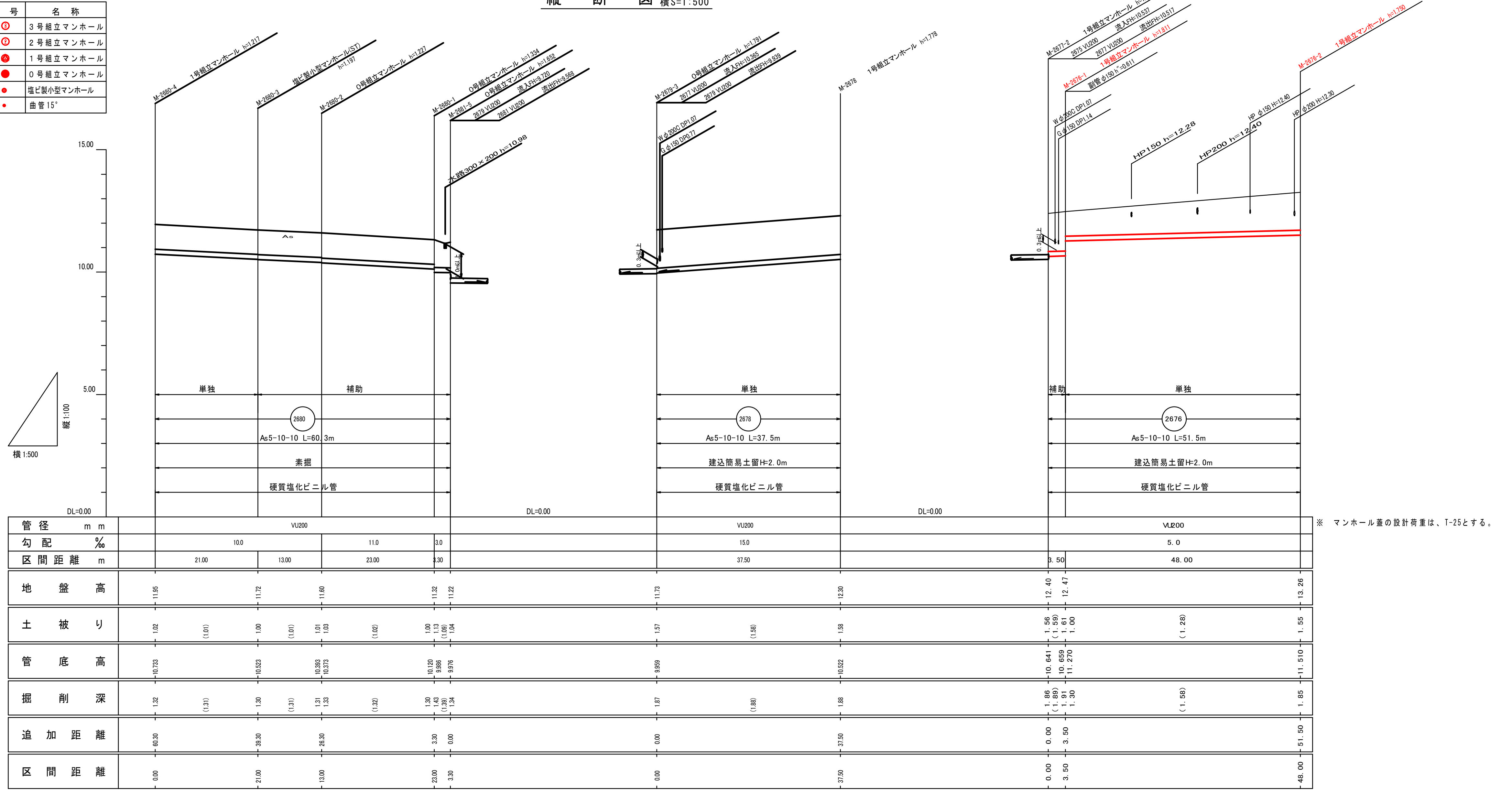
横　断　図 S=1:100



凡　例

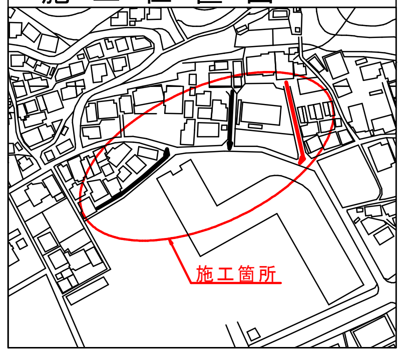
記　号	名　称
	3号組立マンホール
	2号組立マンホール
	1号組立マンホール
	0号組立マンホール
	塩ビ製小型マンホール
	曲管15°

縦　断　図 縦S=1:100 横S=1:500



※　マンホール蓋の設計荷重は、T-25とする。

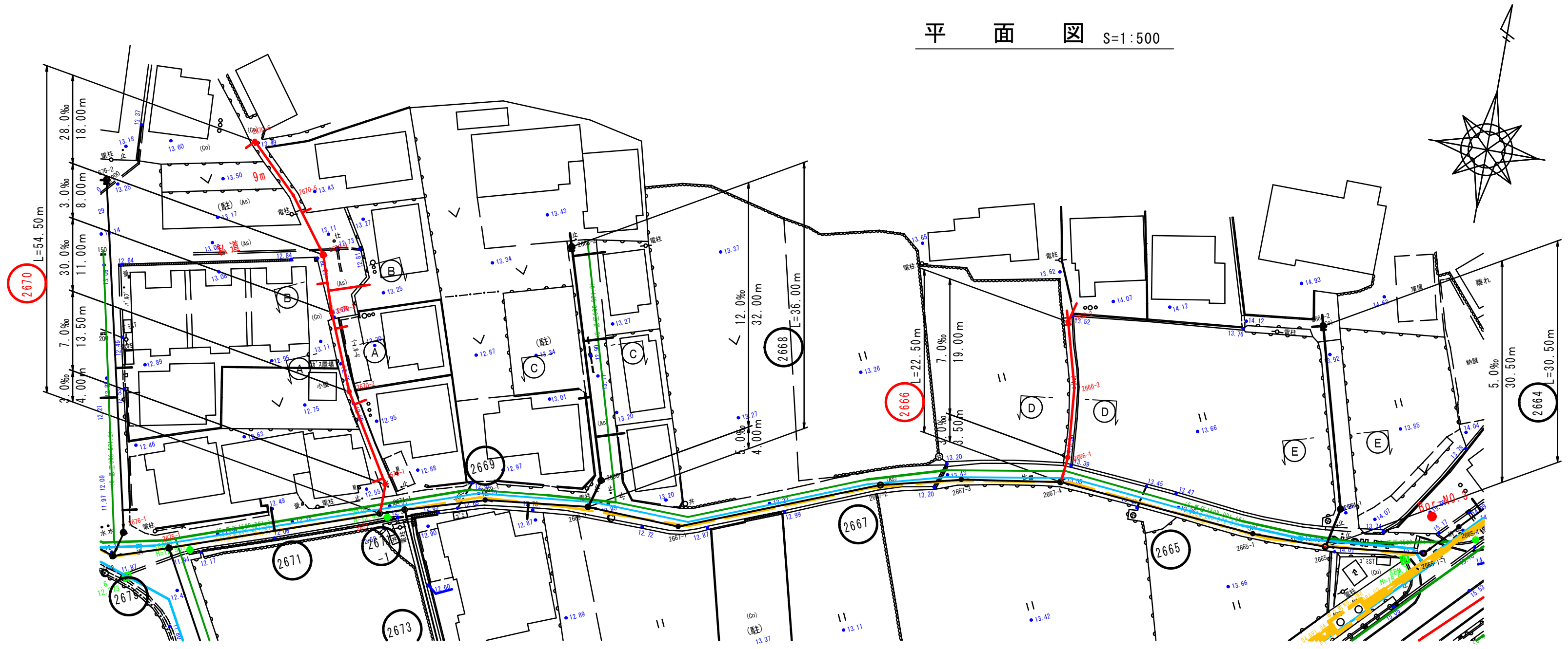
施工位置図 S=1/2500



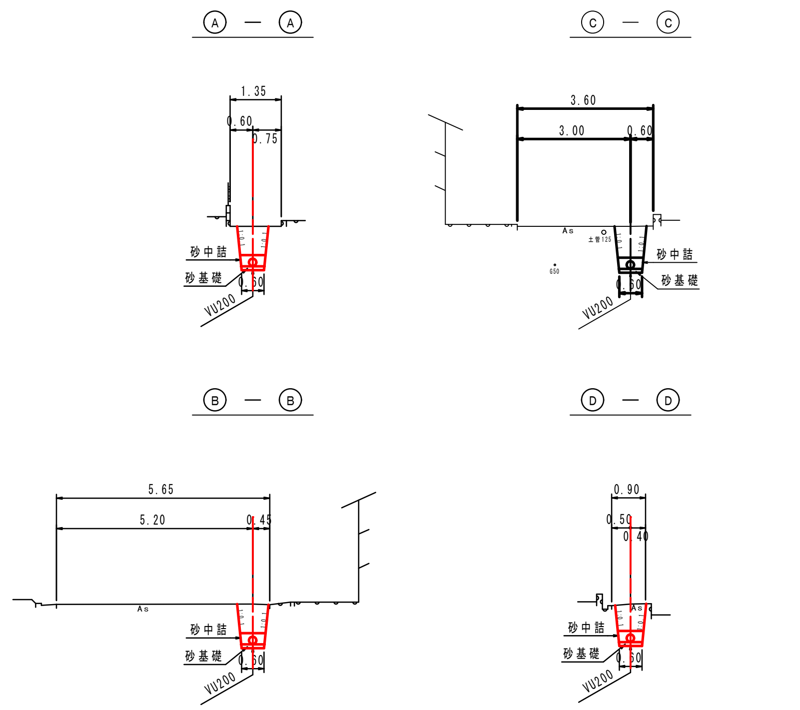
管番号	マンホール番号	管種・管径	延長	工法
2676	M-2677-2～M-2676-1	VU200	3.50	開削　補助
2676	M-2676-1～M-2676-2	VU200	48.00	開削　単独
2678	M-2679-3～M-2678	VU200	37.50	開削　単独
2680	M-2681-5～M-2680-3	VU200	39.30	開削　補助
2680	M-2680-3～M-2680-4	VU200	21.00	開削　単独
計			149.30m	

令和７年度　公共下水道事業(汚水)			
工事名	三原東処理分区汚水管新設工事 (7-1)		
工事場所	三原市中之町二丁目		
図面番号	1/2	縮　尺	図　示
平面図・縦横断面図(その１８)			
三　原　市			

平　面　図 S=1:500



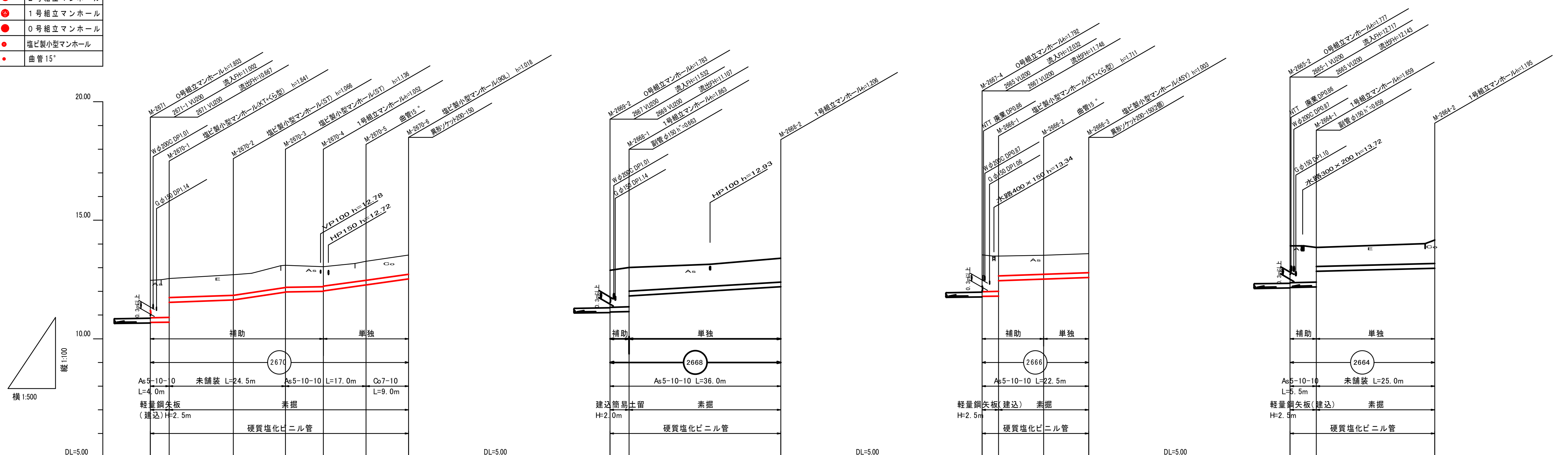
横　断　図 S=1:100



凡　例

記号	名称
	3号組立マンホール
	2号組立マンホール
	1号組立マンホール
	0号組立マンホール
	塩ビ製小型マンホール
	曲管15°

縦　断　図 縦S=1:100 横S=1:500



管径 mm	VU200												
勾配 ‰		3.0		7.0		30.0		3.0		28.0			
区間距離 m		4.00		13.50		11.00		8.00		9.00		9.00	
地盤高	12.47		12.54		12.70		13.08 13.10		13.04		13.27		13.53
土被り	1.58	(1.61)	1.64 0.80	(0.84)	0.87	(0.91)	0.94	(0.90)	0.85 0.83	(0.82)	0.81	(0.82)	0.82
管底高	10.687		10.699 11.539		11.634		11.964		11.988 12.008		12.260		12.512
掘削深	1.88	(1.91)	1.94 1.10	(1.14)	1.17	(1.21)	1.24	(1.20)	1.15 1.13	(1.12)	1.11	(1.12)	1.12
追加距離	0.00		4.00		17.50		28.50		36.50		45.50		54.50
区間距離	0.00		4.00		13.50		11.00		8.00		9.00		9.00

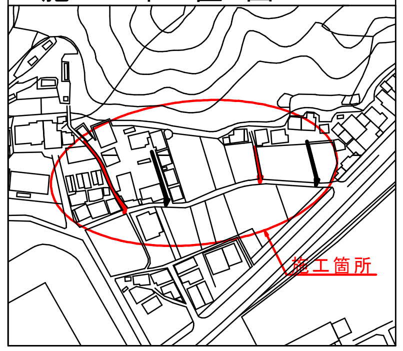
管径 mm	VU200				
勾配 ‰		5.0		12.0	
区間距離 m		4.00		32.00	
地盤高	12.89		13.01		13.40
土被り	1.56	(1.61)	1.66 1.00	(1.01)	1.01
管底高	11.127		11.147 11.810		12.194
掘削深	1.86	(1.91)	1.96 1.30	(1.31)	1.31
追加距離	0.00		4.00		36.00
区間距離	0.00		4.00		32.00

管径 mm	VU200						
勾配 ‰		3.0		7.0			
区間距離 m		3.50		9.50		9.50	
地盤高	13.54		13.49		13.52		13.59
土被り	1.57	(1.54)	1.51 0.84	(0.82)	0.80	(0.80)	0.80
管底高	11.768		11.779 12.453		12.520		12.587
掘削深	1.87	(1.84)	1.81 1.14	(1.12)	1.10	(1.10)	1.10
追加距離	0.00		3.50		13.00		22.50
区間距離	0.00		3.50		9.50		9.50

管径 mm	VU200				
勾配 ‰		5.0			
区間距離 m		5.50		25.00	
地盤高	13.92		13.85		14.17
土被り	1.56	(1.51)	1.46 0.80	(0.90)	1.00
管底高	12.163		12.191 12.850		12.975
掘削深	1.86	(1.81)	1.76 1.10	(1.20)	1.30
追加距離	0.00		5.50		30.50
区間距離	0.00		5.50		25.00

※　マンホール蓋の設計荷重は、T-25とする。

施工位置図 S=1/2500



管番号	マンホール番号	管種・管径	延長	工法
2664	M-2665-2～M-2664-1	VU200	5.50	開削 補助
2664	M-2664-1～M-2664-2	VU200	25.00	開削 単独
2666	M-2667-4～M-2666-2	VU200	13.00	開削 補助
2666	M-2666-2～M-2666-3	VU200	9.50	開削 単独
2668	M-2669-2～M-2668-1	VU200	4.00	開削 補助
2668	M-2668-1～M-2668-2	VU200	32.00	開削 単独
2670	M-2671～M-2670-4	VU200	36.50	開削 補助
2670	M-2670-4～M-2670-6	VU200	18.00	開削 単独
計			143.50m	

令和７年度　公共下水道事業（汚水）			
工事名	三原東処理分区汚水管新設工事（7-1）		
工事場所	三原市中之町二丁目		
図面番号	2/2	縮尺	図示
平面図・縦横断面図（その２４）			
三　原　市			

三原東処理分区汚水管新設工事（7-1）

～　　参考資料　　～

総括情報表

変更回数	0
適用単価地区	59 三原市
単価適用日	00-07.09.01(0)
諸経費体系	1 公共(一般)

	当世代	前世代
工種	31 下水道工事（２）	
施工地域・工事場所区分	02 市街地(DID補正)	
復興補正区分	00 補正なし	
週休補正区分	09 閉所型・月単位	
現場事務所等の貸与区分	00 補正なし	
ＩＣＴ補正区分	00 補正なし	
冬期補正係数	00 補正なし	
緊急工事区分	00 通常工事 ０％	
前払金支出割合区分	00 補正無し	
契約保証区分	01 金銭的保証(0.04%)	

建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として，労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。

≪凡例≫

Co ･･･コンクリート　　As ･･･アスファルト
DT ･･･ダンプトラック　　BH ･･･バックホウ
CC ･･･クローラクレーン　TC ･･･トラッククレーン
RTC･･･ラフテレーンクレーン

本工事費(2676路線単独)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費(2676路線単独)					X1000
管路施設(開削工法)	1	式			Y1I01　　レベル1
管きょ工(開削)	1	式			Y1I0101　　レベル2
管路土工	1	式			Y1I010101　レベル3
管路掘削	1	式			Y1I01010101レベル4
機械掘削工(バックホウ)	70	m3			SG1D0001002 00 単第0 -0001　表
管路埋戻	1	式			Y1I01010102レベル4
機械投入埋戻工(バックホウ)	42	m3			SG1D0002003 00 単第0 -0003　表
機械投入埋戻工(バックホウ)	12	m3			SG1D0002003 00 単第0 -0005　表

本工事費(2676路線単独)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
発生土処理	1	式			Y1I01010103レベル4
発生土運搬工(10t積級,機械積込み)	24	m3			SG1E0003001 00 単第0 -0006　表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土受入費	24	m3			F0001 00
管布設工	1	式			Y1I010102　レベル3
硬質塩化ビニル管 【VUφ200】	47.1	m			Y1I01010203レベル4
硬質塩化ビニル管布設工 呼び径 200mm	47.1	m			SG1D0006001 00 単第0 -0008　表
継手類	2	箇所			Y1I01010212レベル4
ﾏﾝﾎｰﾙ用可とう継手 φ200　VU	2	個			F0002 00

本工事費(2676路線単独)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
埋設標識テープ	47.1	m			Y1I01010216レベル4
埋設標識シート 150×50　2倍	47.1	m			F0003　　00
管基礎工	1	式			Y1I010103　レベル3
砂基礎 【再生砂】	47.1	m			Y1I01010301レベル4
砂基礎工(機械施工)	5	m3			SG1D0019002 00 単第0 -0009　表
再生砂	6	m3			TTPC00011　00
管路土留工	1	式			Y1I010105　レベル3
軽量鋼矢板土留	1	式			Y1I01010503レベル4
軽量鋼矢板建込工(両側分)	48	m			SG1D0033001 00 単第0 -0010　表

本工事費(2676路線単独)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
軽量鋼矢板引抜工(両側分)	48	m			SG1D0033002 00 単第0 -0011 表
土留支保工(軽量金属支保工)	48	m			SG1D0033008 00 単第0 -0012 表
土留支保工(軽量金属支保工)	48	m			SG1D0033008 00 単第0 -0013 表
矢板損料 H=2.0	1	式			F0022 00
支保賃料 H=2.0	1	式			F0023 00
マンホール工	1	式			Y1I0102 レベル2
組立マンホール工	1	式			Y1I010202 レベル3
組立1号マンホール	1	箇所			Y1I01020202レベル4
円形1号(内径900)I種 斜壁 600×900×450	1	個			TH003066 00

本工事費(2676路線単独)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
円形1号(内径900)I種 管取付け壁 900×1200	1	個			TH003090 00
円形1号(内径900)I種 底版 H=130	1	個			TH003096 00
マンホール付属品 調整リング 600×150	1	個			TH003102 00
汚水用人孔鉄蓋(ﾃﾞｻﾞｲﾝ入・密閉ﾛｯｸ式) φ600用　T-25	1	組			F0004 00
無収縮モルタル 25kg袋	1	袋			TH003190 00
変形防止調整金具	1	箇所			F0005 00
マンホール削孔費 0・1号(I種) 塩ビ管用,径200用	1	個所			TH003130 00
底部工(組立式)(組立1号マンホール)	1	箇所			SG1D0053001 00 単第0 -0014　表
組立1号マンホール １号(内径900㎜)　深さ3m以下	1	箇所			SG1D0053002 00 単第0 -0017　表

本工事費(2676路線単独)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
取付管およびます工	1	式			Y1I0104　　レベル2
管路土工	1	式			Y1I010401　レベル3
管路掘削	1	式			Y1I01040101レベル4
機械掘削工(バックホウ)	7	m3			SG1D0001002 00 単第0 -0018　表
管路埋戻	1	式			Y1I01040102レベル4
機械投入埋戻工(バックホウ)	5	m3			SG1D0002003 00 単第0 -0020　表
機械投入埋戻工(バックホウ)	1	m3			SG1D0002003 00 単第0 -0021　表
再生砂	2	m3			TTPC00011　00
発生土処理	1	式			Y1I01040103レベル4

本工事費(2676路線単独)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り　距離27.0km以下(17.0km超)	0.9	m3			SPK25040002 00 単第0 -0022　表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土受入費	0.9	m3			F0001　00
ます設置工	1	式			Y1I010402　レベル3
ます(塩化ビニル製)	4	箇所			Y1I01040202レベル4
ます設置工 (塩化ビニル製) ます径 200mm	4	箇所			SG1D0088004 00 単第0 -0023　表
蓋設置工(鋳鉄製防護蓋)	2	箇所			SG1D0088005 00 単第0 -0024　表
鋳鉄製防護蓋　標準型　φ200 T-8A　台座含む	2	組			F0006　00
取付管布設工	1	式			Y1I010403　レベル3

本工事費(2676路線単独)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
取付管(硬質塩化ビニル管)	4	箇所			Y1I01040302レベル4
取付管布設および支管取付工 管径　１５０mm	4	箇所			SG1D0089002 00 単第0 -0025　表
マンホール削孔費 0・1号(I種) 塩ビ管用,径150用	1	個所			TH003128　00
付帯工	1	式			Y1I0106　レベル2
舗装撤去工	1	式			Y1I010601　レベル3
舗装版切断	109	m			Y1I01060101レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	96	m			SPK25040307 00 単第0 -0026　表
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	13	m			SPK25040307 00 単第0 -0026　表
舗装版破砕	230	m2			Y1I01060102レベル4

本工事費(2676路線単独)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版破砕 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	180	m2			SPK25040306 00 単第0 -0027 表
舗装版破砕 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	50	m2			SPK25040306 00 単第0 -0027 表
舗装版破砕(小規模)	5	m2			Y1I01060103レベル4
舗装版破砕積込(小規模土工)	5	m2			SPK25040018 00 単第0 -0028 表
殻運搬処理	11	m3			Y1I01060105レベル4
殻運搬 舗装版破砕 DID区間有り 運搬距離6.0km以下(3.5km超)	11	m3			SPK25040155 00 単第0 -0029 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
アスファルト殻受入費	25	t			F0007 00
舗装復旧工	1	式			Y1I010603 レベル3

本工事費(2676路線単独)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
不陸整正	134	m2			Y1I01060301レベル4
不陸整正 補足材料無し	134	m2			SPK25040234 00 単第0 -0030　表
下層路盤(歩道部)	50	m2			Y1I01060303レベル4
下層路盤(歩道部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-30	50	m2			SPK25040236 00 単第0 -0031　表
上層路盤(歩道部)	50	m2			Y1I01060305レベル4
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚120mm 1層施工 RM-30	50	m2			SPK25040238 00 単第0 -0032　表
表層(車道・路肩部)	180	m2			Y1I01060308レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm	180	m2			SPK25040244 00 単第0 -0033　表
舗装仮復旧工	1	式			Y1I010604　レベル3

本工事費(2676路線単独)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表層(歩道部)	1	式			Y1I01060409レベル4
表層(歩道部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm	50	m2			SPK25040247 00 単第0 -0034 表
全工種共通仮設	1	式			Y1J01 レベル1
仮設工	1	式			Y1J0101 レベル2
交通管理工	1	式			Y1J010121 レベル3
交通誘導警備員	10	人			Y1J01012101レベル4
交通誘導警備員B	10	人			R0369 00
＊＊直接工事費＊＊ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
運搬費					Z0004

本工事費(2676路線単独)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
運搬費	1	式			YZZ04　レベル2
運搬費	1	式			YZZ04001　レベル3
仮設材運搬費	3.994	t			YZZ04001004レベル4
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 2.6km 製品長 12m以内	1	式			S1000007　00 単第0 -0035　表
技術管理費					Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06　レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001　レベル3
施工調査費	1	式			YZZ06001006レベル4
管路調査工 洗浄・カメラ調査・報告書含む	47.1	m			V0100　00 単第0 -0038　表

本工事費(2676路線単独)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					率参照額……
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					率参照額……
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率… 率参照額……
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					

本工事費(2676路線単独)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊ 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事費＊＊					

本工事費(2676路線補助)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費(2676路線補助)					X2000
管路施設(開削工法)	1	式			Y1I01　　レベル1
管きょ工(開削)	1	式			Y1I0101　　レベル2
管路土工	1	式			Y1I010101　レベル3
管路掘削	1	式			Y1I01010101レベル4
機械掘削工(バックホウ)	5	m3			SG1D0001002 00 単第0 -0001　表
管路埋戻	1	式			Y1I01010102レベル4
機械投入埋戻工(バックホウ)	3	m3			SG1D0002003 00 単第0 -0003　表
機械投入埋戻工(バックホウ)	0.7	m3			SG1D0002003 00 単第0 -0005　表

本工事費(2676路線補助)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
発生土処理	1	式			Y1I01010103レベル4
発生土運搬工(10t積級,機械積込み)	2	m3			SG1E0003001 00 単第0 -0006　表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土受入費	0.7	m3			F0001　　00
管布設工	1	式			Y1I010102　レベル3
硬質塩化ビニル管 【VUφ200】	2.6	m			Y1I01010203レベル4
硬質塩化ビニル管布設工 呼び径 200mm	2.6	m			SG1D0006001 00 単第0 -0008　表
継手類	2	箇所			Y1I01010212レベル4
ﾏﾝﾎｰﾙ用可とう継手 φ200　VU	2	個			F0002　　00

本工事費(2676路線補助)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
マンホール削孔接続	1	箇所			Y1I01010213レベル4
マンホール削孔費 0・1号(I種) 塩ビ管用,径200用	1	個所			TH003130　　00
埋設標識テープ	2.6	m			Y1I01010216レベル4
埋設標識シート 150×50　2倍	2.6	m			F0003　　00
管基礎工	1	式			Y1I010103　レベル3
砂基礎 【再生砂】	2.6	m			Y1I01010301レベル4
砂基礎工(機械施工)	0.2	m3			SG1D0019002 00 単第0 -0009　表
再生砂	0.3	m3			TTPC00011　　00
管路土留工	1	式			Y1I010105　レベル3

本工事費(2676路線補助)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
軽量鋼矢板土留	1	式			Y1I01010503レベル4
軽量鋼矢板建込工(両側分)	3.5	m			SG1D0033001 00 単第0 -0010 表
軽量鋼矢板引抜工(両側分)	3.5	m			SG1D0033002 00 単第0 -0011 表
土留支保工(軽量金属支保工)	3.5	m			SG1D0033008 00 単第0 -0012 表
土留支保工(軽量金属支保工)	3.5	m			SG1D0033008 00 単第0 -0013 表
矢板損料 H=2.0	1	式			F0018 00
支保賃料 H=2.0	1	式			F0019 00
マンホール工	1	式			Y1I0102 レベル2
組立マンホール工	1	式			Y1I010202 レベル3

本工事費(2676路線補助)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
組立1号マンホール	1	箇所			Y1I01020202レベル4
円形1号(内径900)I種 斜壁 600×900×450	1	個			TH003066　00
円形1号(内径900)I種 直壁 900×1200	1	個			TH003076　00
円形1号(内径900)I種 底版 H=130	1	個			TH003096　00
マンホール付属品 調整リング 600×100	1	個			TH003100　00
汚水用人孔鉄蓋(ﾃﾞｻﾞｲﾝ入・密閉ﾛｯｸ式) φ600用　T-25	1	組			F0004　00
変形防止調整金具	1	箇所			F0005　00
無収縮モルタル 25kg袋	1	袋			TH003190　00
底部工(組立式)(組立1号マンホール)	1	箇所			SG1D0053001 00 単第0 -0014　表

本工事費(2676路線補助)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
組立1号マンホール １号(内径900㎜)　深さ3m以下	1	箇所			SG1D0053002 00 単第0 -0045　表
内副管	1	箇所			Y1I01020208レベル4
内副管取付工	1	箇所			SG1D0051002 00 単第0 -0046　表
スリム型内副管（偏平タイプ）200-150 1号マンホール継手(固定金具付)	1	個			F0008　00
スリム型内副管（偏平タイプ）	0.6	m			F0009　00
スリム型内副管（偏平タイプ） エルボ	1	個			F0010　00
取付ﾊﾞﾝﾄﾞ　UABD	2	個			F0011　00
付帯工	1	式			Y1I0106　レベル2
舗装撤去工	1	式			Y1I010601　レベル3

本工事費(2676路線補助)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断	7	m			Y1I01060101レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	7	m			SPK25040307 00 単第0 -0026 表
舗装版破砕	16	m2			Y1I01060102レベル4
舗装版破砕 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	16	m2			SPK25040306 00 単第0 -0027 表
殻運搬処理	0.8	m3			Y1I01060105レベル4
殻運搬 舗装版破砕 DID区間有り 運搬距離6.0km以下(3.5km超)	0.8	m3			SPK25040155 00 単第0 -0029 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
アスファルト殻受入費	2	t			F0007 00
舗装復旧工	1	式			Y1I010603 レベル3

本工事費(2676路線補助)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
不陸整正	10	m2			Y1I01060301レベル4
不陸整正 補足材料無し	10	m2			SPK25040234 00 単第0 -0030　表
下層路盤(歩道部)	3	m2			Y1I01060303レベル4
下層路盤(歩道部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-30	3	m2			SPK25040236 00 単第0 -0031　表
上層路盤(歩道部)	3	m2			Y1I01060305レベル4
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚120mm 1層施工 RM-30	3	m2			SPK25040238 00 単第0 -0032　表
表層(車道・路肩部)	13	m2			Y1I01060308レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm	13	m2			SPK25040244 00 単第0 -0033　表
舗装仮復旧工	1	式			Y1I010604　レベル3

本工事費(2676路線補助)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表層(歩道部)	1	式			Y1I01060409レベル4
表層(歩道部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm	3	m2			SPK25040247 00 単第0 -0034 表
全工種共通仮設	1	式			Y1J01 レベル1
仮設工	1	式			Y1J0101 レベル2
交通管理工	1	式			Y1J010121 レベル3
交通誘導警備員	1	人			Y1J01012101レベル4
交通誘導警備員B	1	人			R0369 00
＊＊直接工事費＊＊ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
運搬費					Z0004

本工事費(2676路線補助)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
運搬費	1	式			YZZ04　　レベル2
運搬費	1	式			YZZ04001　　レベル3
仮設材運搬費	0.582	t			YZZ04001004レベル4
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 2.6km 製品長 12m以内	1	式			S1000007　　00 単第0 -0047　表
技術管理費					Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06　　レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001　　レベル3
施工調査費	1	式			YZZ06001006レベル4
管路調査工 洗浄・カメラ調査・報告書含む	2.6	m			V0100　　00 単第0 -0038　表

本工事費(2676路線補助)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					率参照額……
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					率参照額……
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率… 率参照額……
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					

本工事費(2676路線補助)　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊ 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事費＊＊					

本工事費（2666,2670路線単独）　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費（2666,2670路線単独）					X4000
管路施設(開削工法)	1	式			Y1I01　　レベル1
管きょ工(開削)	1	式			Y1I0101　　レベル2
管路土工	1	式			Y1I010101　レベル3
管路掘削	1	式			Y1I01010101レベル4
床掘り 土砂 現場制約あり	7	m3			SPK25040015 00 単第0 -0050　表
機械掘削工(小型バックホウ)	14	m3			SG1D0001001 00 単第0 -0051　表
管路埋戻	1	式			Y1I01010102レベル4
人力投入埋戻工	3	m3			SG1D0002001 00 単第0 -0053　表

本工事費（2666,2670路線単独）　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
機械投入埋戻工(小型バックホウ)	7	m3			SG1D0002002 00 単第0 -0054　表
人力投入埋戻工	2	m3			SG1D0002001 00 単第0 -0055　表
機械投入埋戻工(小型バックホウ)	7	m3			SG1D0002002 00 単第0 -0056　表
発生土処理	1	式			Y1I01010103レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り　距離24.0km以下(15.0km超)	10	m3			SPK25040002 00 単第0 -0057　表
管布設工	1	式			Y1I010102　レベル3
硬質塩化ビニル管 【VUφ200】	26	m			Y1I01010203レベル4
硬質塩化ビニル管布設工 呼び径 200mm	26.0	m			SG1D0006001 00 単第0 -0008　表
継手類	1	箇所			Y1I01010212レベル4

本工事費（2666,2670路線単独）　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ﾏﾝﾎｰﾙ用可とう継手 φ200　VU	1	個			F0002　　00
埋設標識テープ	26	m			Y1I01010216レベル4
埋設標識シート 150×50　2倍	26	m			F0003　　00
管基礎工	1	式			Y1I010103　レベル3
砂基礎 【再生砂】	26	m			Y1I01010301レベル4
砂基礎工(人力施工)	2	m3			SG1D0019001 00 単第0 -0058　表
再生砂	2	m3			TTPC00011　00
マンホール工	1	式			Y1I0102　　レベル2
小型マンホール工	1	式			Y1I010203　レベル3

本工事費（2666,2670路線単独）　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
小型マンホール(塩化ビニル製)	2	箇所			Y1I01020301レベル4
小型マンホール工（塩化ビニル製） マンホール径300㎜　起点および中間形式 深さ2m以下　本管径150㎜～200㎜	2	箇所			SG1D0057001 00 単第0 -0059　表
小口径鉄蓋(ﾃﾞｻﾞｲﾝ入･密閉ﾛｯｸ式) φ300用　T-25	2	組			F0012　00
沈下防止盤（再生プラスチック） φ300用　T-25	2	組			F0013　00
異径ソケット 200×150	3	個			F0014　00
取付管およびます工	1	式			Y1I0104　レベル2
管路土工	1	式			Y1I010401　レベル3
管路掘削	1	式			Y1I01040101レベル4
床掘り 土砂 現場制約あり	2	m3			SPK25040015 00 単第0 -0050　表

本工事費（2666,2670路線単独）　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
機械掘削工(小型バックホウ)	0.9	m3			SG1D0001001 00 単第0 -0051　表
管路埋戻	1	式			Y1I01040102レベル4
人力投入埋戻工	2	m3			SG1D0002001 00 単第0 -0053　表
人力投入埋戻工	0.7	m3			SG1D0002001 00 単第0 -0055　表
発生土処理	1	式			Y1I01040103レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り　距離24.0km以下(15.0km超)	0.6	m3			SPK25040002 00 単第0 -0057　表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土受入費	0.6	m3			F0001　　00
ます設置工	1	式			Y1I010402　レベル3

本工事費（2666,2670路線単独）　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ます(塩化ビニル製)	4	箇所			Y1I01040202レベル4
ます設置工（塩化ビニル製) ます径 200㎜	4	箇所			SG1D0088004 00 単第0 -0023 表
取付管布設工	1	式			Y1I010403 レベル3
取付管(硬質塩化ビニル管)	4	式			Y1I01040302レベル4
取付管布設および支管取付工 管径　１５０mm	4	箇所			SG1D0089002 00 単第0 -0060 表
付帯工	1	式			Y1I0106 レベル2
舗装撤去工	1	式			Y1I010601 レベル3
舗装版切断	61	m			Y1I01060101レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15㎝以下	37	m			SPK25040307 00 単第0 -0026 表

本工事費（2666,2670路線単独）　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断 コンクリート舗装版 コンクリート舗装版厚15cm以下	18	m			SPK25040307 00 単第0 -0061 表
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	1	m			SPK25040307 00 単第0 -0026 表
舗装版切断 コンクリート舗装版 コンクリート舗装版厚15cm以下	5	m			SPK25040307 00 単第0 -0061 表
舗装版破砕(小規模)	51	m2			Y1I01060103レベル4
舗装版破砕積込(小規模土工)	27	m2			SPK25040018 00 単第0 -0028 表
構造物とりこわし工(無筋構造物) 人力施工	0.2	m3			SDT00031 00 単第0 -0062 表
舗装版破砕積込(小規模土工)	22	m2			SPK25040018 00 単第0 -0028 表
舗装版破砕積込(小規模土工)	0.4	m2			SPK25040018 00 単第0 -0028 表
舗装版破砕積込(小規模土工)	2	m2			SPK25040018 00 単第0 -0028 表

本工事費（2666,2670路線単独）　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物とりこわし工(無筋構造物) 人力施工	0.2	m3			SDT00031　00 単第0 -0062　表
殻運搬処理	3	m3			Y1I01060105レベル4
殻運搬 舗装版破砕 DID区間有り 運搬距離4.5km以下(3.5km超)	2	m3			SPK25040155 00 単第0 -0063　表
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離5.7km以下(3.3km超)	1	m3			SPK25040155 00 単第0 -0064　表
殻運搬 舗装版破砕 DID区間有り 運搬距離4.5km以下(3.5km超)	0.1	m3			SPK25040155 00 単第0 -0063　表
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離5.7km以下(3.3km超)	0.2	m3			SPK25040155 00 単第0 -0064　表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
アスファルト殻受入費	4	t			F0007　00
コンクリート殻受入費	3	t			F0015　00

本工事費（2666,2670路線単独）　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
アスファルト殻受入費	0.1	t			F0007 00
コンクリート殻受入費	0.4	t			F0015 00
舗装復旧工	1	式			Y1I010603　レベル3
不陸整正	22	m2			Y1I01060301レベル4
不陸整正 補足材料無し	22	m2			SPK25040234 00 単第0 -0030　表
下層路盤(歩道部)	24	m2			Y1I01060303レベル4
下層路盤(歩道部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-30	15	m2			SPK25040236 00 単第0 -0031　表
下層路盤(歩道部) 全仕上り厚140mm 1層施工 RC-30	9	m2			SPK25040236 00 単第0 -0065　表
上層路盤(歩道部)	15	m2			Y1I01060305レベル4

本工事費（2666,2670路線単独）　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚120㎜ 1層施工 RM-30	15	m2			SPK25040238 00 単第0 -0032 表
表層(歩道部)	29	m2			Y1I01060309レベル4
表層(歩道部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50㎜以下) 1層当り平均仕上厚50㎜	27	m2			SPK25040247 00 単第0 -0066 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	2	m3			SPK25040157 00 単第0 -0067 表
舗装仮復旧工	1	式			Y1I010604 レベル3
表層(歩道部)	1	式			Y1I01060409レベル4
表層(歩道部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50㎜以下) 1層当り平均仕上厚30㎜	24	m2			SPK25040247 00 単第0 -0034 表
全工種共通仮設	1	式			Y1J01 レベル1
仮設工	1	式			Y1J0101 レベル2

本工事費（2666,2670路線単独）　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通管理工	1	式			Y1J010121　レベル3
交通誘導警備員	9	人			Y1J01012101レベル4
交通誘導警備員B	9	人			R0369　00
＊＊直接工事費＊＊ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
技術管理費					Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06　レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001　レベル3
施工調査費	1	式			YZZ06001006レベル4
管路調査工 洗浄・カメラ調査・報告書含む	26.0	m			V0100　00 単第0 -0038　表

本工事費（2666,2670路線単独）　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					率参照額……
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					率参照額……
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率… 率参照額……
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					

本工事費（2666,2670路線単独）　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊ 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事費＊＊					

本工事費（2666,2670路線補助）　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費（2666,2670路線補助）					X5000
管路施設(開削工法)	1	式			Y1I01　　レベル1
管きょ工(開削)	1	式			Y1I0101　　レベル2
管路土工	1	式			Y1I010101　レベル3
管路掘削	1	式			Y1I01010101レベル4
床掘り 土砂 現場制約あり	41	m3			SPK25040015 00 単第0 -0050　表
機械掘削工(小型バックホウ)	7	m3			SG1D0001001 00 単第0 -0051　表
管路埋戻	1	式			Y1I01010102レベル4
人力投入埋戻工	26	m3			SG1D0002001 00 単第0 -0053　表

本工事費（2666,2670路線補助）　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
機械投入埋戻工(小型バックホウ)	3	m3			SG1D0002002 00 単第0 -0054　表
人力投入埋戻工	7	m3			SG1D0002001 00 単第0 -0055　表
機械投入埋戻工(小型バックホウ)	1	m3			SG1D0002002 00 単第0 -0056　表
発生土処理	1	式			Y1I01010103レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り　距離24.0km以下(15.0km超)	15	m3			SPK25040002 00 単第0 -0057　表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土受入費	15	m3			F0001　　00
管布設工	1	式			Y1I010102　レベル3
硬質塩化ビニル管 【VUφ200】	46.2	m			Y1I01010203レベル4

本工事費（2666,2670路線補助）　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
硬質塩化ビニル管布設工 呼び径 200㎜	46.2	m			SG1D0006001 00 単第0 -0008　表
継手類	10	箇所			Y1I01010212レベル4
ﾏﾝﾎｰﾙ用可とう継手 φ200　VU	3	個			F0002　00
本管自在継手 φ200	5	個			F0016　00
塩ビ製小口径マンホール用継手 (90支管)(自在タイプ)300-200	2	個			F0017　00
埋設標識テープ	46.2	m			Y1I01010216レベル4
埋設標識シート 150×50　2倍	46.2	m			F0003　00
管基礎工	1	式			Y1I010103　レベル3
砂基礎 【再生砂】	46.2	m			Y1I01010301レベル4

本工事費（2666,2670路線補助）　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
砂基礎工(人力施工)	3	m3			SG1D0019001 00 単第0 -0058 表
再生砂	4	m3			TTPC00011 00
管路土留工	1	式			Y1I010105 レベル3
軽量鋼矢板土留	1	式			Y1I01010503レベル4
軽量鋼矢板建込工(両側分)	8	m			SG1D0033001 00 単第0 -0010 表
軽量鋼矢板引抜工(両側分)	8	m			SG1D0033002 00 単第0 -0011 表
土留支保工(軽量金属支保工)	8	m			SG1D0033008 00 単第0 -0012 表
土留支保工(軽量金属支保工)	8	m			SG1D0033008 00 単第0 -0013 表
矢板損料 H=2.5	1	式			F0020 00

本工事費（2666,2670路線補助）　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
支保賃料 H=2.5	1	式			F0021　00
マンホール工	1	式			Y1I0102　レベル2
組立マンホール工	1	式			Y1I010202　レベル3
組立1号マンホール	1	箇所			Y1I01020202レベル4
円形1号(内径900)I種 斜壁 600×900×300	1	個			TH003064　00
円形1号(内径900)I種 管取付け壁 900×600	1	個			TH003086　00
円形1号(内径900)I種 底版 H=130	1	個			TH003096　00
マンホール付属品 調整リング 600×100	2	個			TH003100　00
汚水用人孔鉄蓋(ﾃﾞｻﾞｲﾝ入・密閉ﾛｯｸ式) φ600用　T-25	1	組			F0004　00

本工事費（2666,2670路線補助）　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
変形防止調整金具	1	箇所			F0005 00
無収縮モルタル 25kg袋	1	袋			TH003190 00
底部工(組立式)(組立1号マンホール)	1	箇所			SG1D0053001 00 単第0 -0014 表
マンホール削孔費 0・1号(I種) 塩ビ管用,径250用	1	個所			TH003132 00
組立1号マンホール １号(内径900㎜)　深さ3m以下	1	箇所			SG1D0053002 00 単第0 -0045 表
小型マンホール工	1	式			Y1I010203 レベル3
小型マンホール(塩化ビニル製)	4	箇所			Y1I01020301レベル4
小型マンホール工（塩化ビニル製) マンホール径300㎜　起点および中間形式 深さ2m以下　本管径150㎜～200㎜	4	箇所			SG1D0057001 00 単第0 -0059 表
小口径鉄蓋(ﾃﾞｻﾞｲﾝ入・密閉ﾛｯｸ式) φ300用　T-25	4	組			F0012 00

本工事費（2666,2670路線補助）　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
沈下防止盤（再生プラスチック） φ300用　T-25	4	組			F0013　　00
取付管およびます工	1	式			Y1I0104　　レベル2
管路土工	1	式			Y1I010401　レベル3
管路掘削	1	式			Y1I01040101レベル4
床掘り 土砂 現場制約あり	5	m3			SPK25040015 00 単第0 -0050　表
管路埋戻	1	式			Y1I01040102レベル4
人力投入埋戻工	4	m3			SG1D0002001 00 単第0 -0053　表
人力投入埋戻工	1	m3			SG1D0002001 00 単第0 -0055　表
発生土処理	1	式			Y1I01040103レベル4

本工事費（2666,2670路線補助）　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り　距離24.0km以下(15.0km超)	1	m3			SPK25040002 00 単第0 -0057　表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土受入費	1	m3			F0001　00
ます設置工	1	式			Y1I010402　レベル3
ます(塩化ビニル製)	5	箇所			Y1I01040202レベル4
ます設置工（塩化ビニル製) ます径 200mm	5	箇所			SG1D0088004 00 単第0 -0023　表
蓋設置工(鋳鉄製防護蓋)	3	箇所			SG1D0088005 00 単第0 -0024　表
鋳鉄製防護蓋　標準型　φ200 T-8A　台座含む	3	組			F0006　00
取付管布設工	1	式			Y1I010403　レベル3

本工事費（2666,2670路線補助）　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
取付管(硬質塩化ビニル管)	5	式			Y1I01040302レベル4
取付管布設および支管取付工 管径　１５０mm	4	箇所			SG1D0089002 00 単第0 -0060　表
取付管布設および支管取付工 管径　１５０mm	1	箇所			SG1D0089002 00 単第0 -0068　表
付帯工	1	式			Y1I0106　　レベル2
舗装撤去工	1	式			Y1I010601　レベル3
舗装版切断	59	m			Y1I01060101レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	50	m			SPK25040307 00 単第0 -0026　表
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	9	m			SPK25040307 00 単第0 -0026　表
舗装版破砕(小規模)	80	m2			Y1I01060103レベル4

本工事費（2666,2670路線補助）　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版破砕積込(小規模土工)	56	m2			SPK25040018 00 単第0 -0028 表
舗装版破砕積込(小規模土工)	24	m2			SPK25040018 00 単第0 -0028 表
殻運搬処理	4	m3			Y1I01060105レベル4
殻運搬 舗装版破砕 DID区間有り 運搬距離4.5km以下(3.5km超)	3	m3			SPK25040155 00 単第0 -0063 表
殻運搬 舗装版破砕 DID区間有り 運搬距離4.5km以下(3.5km超)	0.7	m3			SPK25040155 00 単第0 -0063 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
アスファルト殻受入費	6	t			F0007 00
アスファルト殻受入費	2	t			F0007 00
舗装復旧工	1	式			Y1I010603 レベル3

本工事費（2666,2670路線補助）　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
不陸整正	32	m2			Y1I01060301レベル4
不陸整正 補足材料無し	32	m2			SPK25040234 00 単第0 -0030 表
下層路盤(歩道部)	25	m2			Y1I01060303レベル4
下層路盤(歩道部) 全仕上り厚100㎜ 1層施工 RC-30	25	m2			SPK25040236 00 単第0 -0031 表
上層路盤(歩道部)	25	m2			Y1I01060305レベル4
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚120㎜ 1層施工 RM-30	25	m2			SPK25040238 00 単第0 -0032 表
表層(歩道部)	53	m2			Y1I01060309レベル4
表層(歩道部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50㎜以下) 1層当り平均仕上厚50㎜	53	m2			SPK25040247 00 単第0 -0066 表
舗装仮復旧工	1	式			Y1I010604 レベル3

本工事費（2666,2670路線補助）　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表層(歩道部)	1	式			Y1I01060409レベル4
表層(歩道部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm	25	m2			SPK25040247 00 単第0 -0034 表
全工種共通仮設	1	式			Y1J01 レベル1
仮設工	1	式			Y1J0101 レベル2
交通管理工	1	式			Y1J010121 レベル3
交通誘導警備員	46	人			Y1J01012101レベル4
交通誘導警備員B	46	人			R0369 00
＊＊直接工事費＊＊ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
運搬費					Z0004

本工事費（2666,2670路線補助）　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
運搬費	1	式			YZZ04　レベル2
運搬費	1	式			YZZ04001　レベル3
仮設材運搬費	1.560	t			YZZ04001004レベル4
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 2.6km 製品長 12m以内	1	式			S1000007　00 単第0 -0069　表
技術管理費					Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06　レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001　レベル3
施工調査費	1	式			YZZ06001006レベル4
管路調査工 洗浄・カメラ調査・報告書含む	46.2	m			V0100　00 単第0 -0038　表

本工事費（2666,2670路線補助）　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					率参照額……
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					率参照額……
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率… 率参照額……
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					

本工事費（2666,2670路線補助）　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊ 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事費＊＊					
＊＊工事費計＊＊					
＊＊契約保証費計＊＊					

施工単価表

機械掘削工(バックホウ)　　SG1D0001002　　単第0 -0001　表

1　　m3　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.5	人			
普通作業員	3.9	人			
機-01_バックホウ運転 122_標準型 クレーン 排1 山積0.45m3(平積0.35m3)	8.8	時間			単第0-0002　表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=2　　山積0.45m3			B=2　　土留めを伴う掘削の場合		

施工単価表

機-01_バックホウ運転　　SM0102020　　単第0 -0002　表

122_標準型 クレーン 排1　　山積0.45m3(平積0.35m3)　　1　　時間　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	0.17	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	8.60	L			
バックホウ(クローラ型) 標準型・クレーン機能付き・排1 山積0.45/平積0.35m3,吊能力2.9t	1.00	時間			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	時間			
A=6　122_標準型 クレーン 排1 C=0.17　運転労務数量(人/時間) E=0　機械損料数量			B=3　山積0.45m3(平積0.35m3) D=8.6　燃料消費量(L/時間)		

施工単価表

機械投入埋戻工(バックホウ)　　SG1D0002003　　単第0 -0003　表

1　　m3　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
機-01_バックホウ運転 122_標準型 クレーン 排1 山積0.45m3(平積0.35m3)	6.2	時間			単第0-0002　表
タンパ締固め	100	m3			単第0-0004　表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=2　山積0.45m3 C=6　材料別途			B=2　土留めを伴う掘削の場合		

施工単価表

タンパ締固め　　SPK25040021　　単第0 -0004　表

1　m3　当り

機械構成比: 1.17%　労務構成比: 97.16%　材料構成比: 1.67%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,658.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>タンパ(ランマ) 質量60～80kg	1.17%		タンパ及びランマ 質量60～80kg		KTPC00020 KTPT00020
特殊作業員	51.21%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	45.95%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.67%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=1　-(全ての費用)					

施工単価表

機械投入埋戻工(バックホウ)　　SG1D0002003　　単第0 -0005　表

1　　m3　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
再生砂	126.320	m3			
機-01_バックホウ運転 122_標準型 クレーン 排1 山積0.45m3(平積0.35m3)	6.2	時間			単第0-0002　表
タンパ締固め	100	m3			単第0-0004　表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=2　山積0.45m3 C=2　再生砂			B=2　土留めを伴う掘削の場合 E=126.32　土量変化率を考慮した埋戻土量(m3/100m3)		

施工単価表

発生土運搬工(10t積級,機械積込み)　　SG1E0003001　　単第0 -0006　表

1　　m3　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ダンプトラック運転 011_オンロード ディーゼル 10t積級	6.30	日			単第0-0007　表
1m3当り(計/100m3)					
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=2　　山積0.45m3 C=28　　27.0以下			B=2　　[有]DID区間 D=1　　路面状況:良好		

施工単価表

ダンプトラック運転　　SM2203010　　単第0 -0007　表

011_オンロード ディーゼル　　10t積級　　1　　日　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(一般)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	58.00	L			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 10t積級	1.29	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック　１０ｔ（良）	1.29	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=1　011_オンロード ディーゼル C=1　運転労務数量(人/日) E=1.29　機械損料数量(供用日/日)			B=5　10t積級 D=58　燃料消費量(L/日) F=1　路面状況:良好		

施工単価表

硬質塩化ビニル管布設工　　SG1D0006001　　単第0 -0008　表

呼び径 200mm　　1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
硬質塩化ビニル管設置【材工共】 管径200mm	1	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=2　呼び径 200mm C=1　-			B=1　[規]20m以上 D=1　-		

施工単価表

砂基礎工(機械施工)　　SG1D0019002　　単第0 -0009　表

1　　m3　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
砂基礎設置【手間のみ】 機械施工	1	m3			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=3　材料別途 F=1　-			D=2　[規]10m3未満		

施工単価表

軽量鋼矢板建込工(両側分)　　SG1D0033001　　単第0 -0010　表

1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.0	人			
特殊作業員	2.0	人			
普通作業員	6.0	人			
機-01_バックホウ運転 122_標準型 クレーン 排1 山積0.45m3(平積0.35m3)	11.6	時間			単第0-0002　表
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=4　山積0.45m3 クレーン付2.9t吊			B=2　掘削深	2.0m以下	

施工単価表

軽量鋼矢板引抜工(両側分)　　SG1D0033002　　単第0 -0011　表

1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.9	人			
特殊作業員	0.9	人			
普通作業員	2.7	人			
機-01_バックホウ運転 122_標準型 クレーン 排1 山積0.45m3(平積0.35m3)	6.2	時間			単第0-0002　表
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=2　BH山積0.45m3 クレーン付2.9t吊			B=2　掘削深	2.0m以下	

施工単価表

土留支保工(軽量金属支保工)　　SG1D0033008　　単第0 -0012　表

1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.6	人			
特殊作業員	0.6	人			
普通作業員	1.8	人			
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　設置 C=1　水圧式パイプサポート H=1　-			B=1　設置段数 1段(掘削深2.0m以下) D=1　- L=1　-		

施工単価表

土留支保工(軽量金属支保工)　　SG1D0033008　　単第0 -0013　表

1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.5	人			
特殊作業員	0.5	人			
普通作業員	1.5	人			
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=2　撤去 C=1　水圧式パイプサポート			B=1　設置段数 1段(掘削深2.0m以下)		

施工単価表

底部工(組立式)(組立1号マンホール)　　SG1D0053001　　単第0 -0014　表

1　　箇所　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
再生クラッシャラン 40～0mm	0.228	m3			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB 人力打設	0.180	m3			単第0-0015　表
モルタル上塗工(マンホール用)	0.840	m2			単第0-0016　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			
A=2　RC-40 D=0.2　砕石厚(m) F=0.18　インバートコンクリート工使用数量(m3)			C=0.95　砕石面積(m2) E=1　- G=1　無筋・鉄筋構造物		
H=3　人力打設 L=2　一般養生 P=1　-			I=3　18-8-25(20)BB N=2　現場内小運搬無し Q=2　モルタル上塗工		
R=0.84　モルタル上塗工使用数量(m2)			S=2　高炉		

施工単価表

コンクリート　　SPK25040157　　単第0 -0015　表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB　　人力打設　　1　m3　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 28.68%　材料構成比: 71.32%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 30,615.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	12.85%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.30%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.58%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	71.32%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=3 18-8-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

モルタル上塗工(マンホール用)　　SG1E0044003　　単第0 -0016　表

1　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
左官	0.33	人			
普通作業員	0.33	人			
モルタル練(労・材含む) 高炉 混合比1:2	0.020	m3			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=20　モルタル厚(mm)			B=2　高炉		

施工単価表

組立1号マンホール　　SG1D0053002　　単第0 -0017　表

１号(内径900㎜)　深さ3m以下　　1　　箇所　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
組立マンホール設置工【手間のみ】 1号(内径900㎜) 3m以下	1	箇所			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			
A=1　　１号(内径900㎜)　深さ3m以下 D=1　　-			B=2　　[規]4箇所未満		

施工単価表

機械掘削工(バックホウ)　　SG1D0001002　　単第0 -0018　表

1　　m3　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.9	人			
普通作業員	5.0	人			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	11.1	時間			単第0-0019　表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=1　　山積0.28m3					

施工単価表

機-01_バックホウ運転　　SM0102020　　単第0 -0019　表

113_標準型 排2　　山積0.28m3(平積0.2m3)　　1　　時間　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	0.17	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	5.90	L			
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	1.00	時間			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	時間			
A=3　113_標準型 排2 C=0.17　運転労務数量(人/時間) E=0　機械損料数量			B=1　山積0.28m3(平積0.2m3) D=5.9　燃料消費量(L/時間)		

施工単価表

機械投入埋戻工(バックホウ)　　SG1D0002003　　単第0 -0020　表

1　　m3　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	7.6	時間			単第0-0019　表
タンパ締固め	100	m3			単第0-0004　表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=1　　山積0.28m3			C=6　　材料別途		

施工単価表

機械投入埋戻工(バックホウ)　　SG1D0002003　　単第0 -0021　表

1　　m3　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
再生砂	126.320	m3			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	7.6	時間			単第0-0019　表
タンパ締固め	100	m3			単第0-0004　表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=1　　山積0.28m3 E=126.32　　土量変化率を考慮した埋戻土量(m3/100m3)			C=2　　再生砂		

施工単価表

土砂等運搬　　SPK25040002　　単第0 -0022　表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)　　DID区間有り　距離27.0km以下(17.0km超)　　1　　m3　　当り

機械構成比:　26.52%　　労務構成比:　61.90%　　材料構成比:　11.58%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　5,719.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	26.52%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.90%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	11.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2　小規模 C=1　土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=56　距離27.0km以下(17.0km超)			B=5　バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=2　DID区間有り		

施工単価表

ます設置工（塩化ビニル製)　　SG1D0088004　　単第0 -0023　表

ます径 200mm　　1　箇所　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ます設置工(塩化ビニル製)【材工共】 ます(径200)	1	箇所			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			
A=2　ます径 200mm C=1　-			B=1　[規]5箇所以上 D=1　-		

施工単価表

蓋設置工(鋳鉄製防護蓋)　　SG1D0088005　　単第0 -0024　表

1　箇所　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員	0.016	人			
普通作業員	0.016	人			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

施工単価表

取付管布設および支管取付工　　SG1D0089002　　単第0 -0025　表

管径　１５０mm　　1　　箇所　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
取付管布設工および支管取付工【材工共】 管径150	1	箇所			
取付管布設工および支管取付工【材工共】 管径150 可とう性支管設置 加算額	1	箇所			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			
A=3　管径　１５０mm C=1　- E=1　-			B=1　[規]5箇所以上 D=1　- F=1　-		
G=2　可とう性支管を設置する場合					

施工単価表

舗装版切断　　SPK25040307　　単第0 -0026　表

アスファルト舗装版　　アスファルト舗装版厚15cm以下　　1　m　当り

機械構成比: 15.05%　労務構成比: 58.43%　材料構成比: 26.52%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 700.44000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.24%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.96%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.39%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.81%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版切断　　SPK25040307　　単第0 -0026　表

アスファルト舗装版　　アスファルト舗装版厚15cm以下　　1　m　当り

機械構成比: 15.05%　労務構成比: 58.43%　材料構成比: 26.52%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 700.44000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 E=1 -(全ての費用)			B=1 アスファルト舗装版厚15cm以下		

施工単価表

舗装版破砕　　SPK25040306　　単第0 -0027　表

アスファルト舗装版　　障害等無し 舗装版厚15cm以下　　1　　m2　　当り

機械構成比:　12.85%　　労務構成比:　81.24%　　材料構成比:　5.91%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　217.37000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	12.85%		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
土木一般世話役	29.54%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	27.52%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	24.18%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	5.91%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　アスファルト舗装版 C=1　騒音振動対策不要 F=1　積込作業有り			B=1　障害等無し D=1　舗装版厚15cm以下 G=1　-(全ての費用)		

施工単価表

舗装版破砕積込(小規模土工)　　SPK25040018　　単第0 -0028　表

1　m2　当り

機械構成比: 20.13%　労務構成比: 71.97%　材料構成比: 7.90%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,747.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	20.13%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	71.97%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.90%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　-(全ての費用)					

施工単価表

殻運搬　　SPK25040155　　単第0 -0029　表

舗装版破砕　　DID区間有り　運搬距離6.0km以下(3.5km超)　　1　m3　当り

機械構成比:　44.05%　労務構成比:　39.87%　材料構成比:　16.08%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価:　2,923.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.05%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	39.87%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	16.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3　舗装版破砕 C=2　DID区間有り E=1　-(全ての費用)			B=3　機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) D=26　運搬距離6.0km以下(3.5km超)		

施工単価表

不陸整正　　SPK25040234　　単第0 -0030　表

補足材料無し　　1　m2　当り

機械構成比: 21.58%　労務構成比: 71.86%　材料構成比: 6.56%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 174.53000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	17.28%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	2.16%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13～14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	2.14%		<賃>タイヤローラ 質量13～14t		KTPC00074 KTPT00074
運転手(特殊)	35.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	14.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	11.35%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.65%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	6.56%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

不陸整正　　SPK25040234　　単第0 -0030　表

補足材料無し　　1　m2　当り

機械構成比: 21.58%　労務構成比: 71.86%　材料構成比: 6.56%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 174.53000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
A=1　補足材料無し			E=1　-(全ての費用)		

施工単価表

下層路盤(歩道部)　SPK25040236　単第0 -0031　表

全仕上り厚100㎜ 1層施工　RC-30　1　m2　当り

機械構成比: 5.00%　労務構成比: 75.15%　材料構成比: 19.85%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 857.31000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 山積0.09/平積0.07m3	2.99%		小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 山積0.09/平積0.07m3		MTPC00169 MTPT00169
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.78%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	27.03%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	15.84%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	15.70%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.01%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャラン 30～0㎜	17.77%		再生クラッシャーラン RC-40 [標準数量]全仕上り厚100㎜		TTPCD0018 TTPT00352

施工単価表

下層路盤(歩道部)　　SPK25040236　　単第0 -0031　表

全仕上り厚100mm 1層施工　　RC-30　　1　　m2　　当り

機械構成比:　5.00%　　労務構成比:　75.15%　　材料構成比:　19.85%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　857.31000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.99%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100　全仕上り厚(mm) D=1　-(全ての費用)			B=3　RC-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

上層路盤(歩道部)　SPK25040238　単第0 -0032　表

全仕上り厚120㎜ 1層施工　RM-30　1　m2　当り

機械構成比: 4.66%　労務構成比: 69.96%　材料構成比: 25.38%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 920.81000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 山積0.09/平積0.07m3	2.78%		小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 山積0.09/平積0.07m3		MTPC00169 MTPT00169
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.66%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	25.16%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	14.75%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.61%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	12.11%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生粒度調整砕石 30～0㎜	23.44%		再生粒度調整砕石 RM-30 [標準数量]全仕上り厚100㎜		TTPC00010 TTPT00360

施工単価表

上層路盤(歩道部)　SPK25040238　単第0 -0032　表

全仕上り厚120mm 1層施工　RM-30　1　m2　当り

機械構成比: 4.66%　労務構成比: 69.96%　材料構成比: 25.38%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 920.81000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.85%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=120　全仕上り厚(mm) D=1　-(全ての費用)			B=1　RM-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):120.000(mm)					

施工単価表

表層(車道・路肩部)　SPK25040244　単第0 -0033　表

平均幅員3.0m超　1層当り平均仕上厚50mm　1　m2　当り

機械構成比: 1.38%　労務構成比: 10.17%　材料構成比: 88.45%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,808.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.88%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.14%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.13%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.66%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	2.06%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.03%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.73%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

表層(車道・路肩部)　SPK25040244　単第0 -0033　表

平均幅員3.0m超　1層当り平均仕上厚50mm　1　m2　当り

機械構成比: 1.38%　労務構成比: 10.17%　材料構成比: 88.45%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,808.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	80.70%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	7.17%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.49%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

表層(歩道部)　SPK25040247　単第0 -0034　表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)　1層当り平均仕上厚30mm　1　m2　当り

機械構成比: 0.48%　労務構成比: 52.76%　材料構成比: 46.76%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,994.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t	0.35%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクタ 前進型 運転質量40～60kg	0.10%		振動コンパクタ 前進型 運転質量40～60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	22.73%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	20.37%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	6.21%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生粗粒度(20)	46.58%		再生密粒度As混合物(13) [標準数量]平均仕上り厚40mm		TTPC00023 TTPT00293
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.12%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014

施工単価表

表層(歩道部)　SPK25040247　単第0 -0034　表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)　1層当り平均仕上厚30mm　1　m2　当り

機械構成比: 0.48%　労務構成比: 52.76%　材料構成比: 46.76%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,994.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.05%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=8 再生粗粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=30 1層当り平均仕上り厚(mm) E=5 瀝青材料無し H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):30.000(mm)					

施工単価表

仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬　　S1000007　　単第0 -0035　表

運搬距離 2.6km　　製品長 12m以内　　1　　式　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
基本運賃 運搬距離 2.6km 製品長 12m以内 運搬質量 3.994t	1.000	式			単第0-0036　表
往復					
積込み,取卸しに要する費用	1.000	式			単第0-0037　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=2.6　運搬距離(km) C=1　- E=3.994　運搬質量(t)			B=1　12m以内 D=1　- F=1　-		
H=1　- L=1　基地積込み・取卸し,現場積込み・取卸し			J=1　-		

施工単価表

基本運賃　　S1000009　　単第0 -0036　表

運搬距離 2.6km　　製品長 12m以内 運搬質量 3.994t　　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
基本運賃	1.000	式			※直接経費の対象外
t当り基本運賃	3.994	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=1　基本運賃 C=1　12m以内			B=2.6　運搬距離(km) D=3.994　運搬質量(t)		

施工単価表

積込み,取卸しに要する費用　　S1000009　　単第0 -0037　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材積込み費（基地）	3.994	t			
仮設材取卸し費（現場）	3.994	t			
仮設材積込み費（現場）	3.994	t			
仮設材取卸し費（基地）	3.994	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=5　積込み,取卸しに要する費用 K=1　基地積込み・取卸し,現場積込み・取卸し			D=3.994　運搬質量(t)		

施工単価表

管路調査工　　V0100　　単第0 -0038　表

洗浄・カメラ調査・報告書含む　　1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
本管ＴＶカメラ調査工	1.0	m			単第0-0039　表
管きょ内洗浄工	1.0	m			単第0-0041　表
報告書作成工	1.0	m			単第0-0044　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

本管ＴＶカメラ調査工　　V0110　　単第0 -0039　表

1　　m　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
測量技師（外業） 管路調査技師	1.0	人			
測量技師補（外業） 管路調査助手	1.0	人			
普通作業員 管路調査作業員	1.0	人			
ＴＶカメラ搭載車運転工 95.5kw 2t車	1.0	日			単第0-0040　表
諸雑費	1	式			
1m当り		m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

ＴＶカメラ搭載車運転工　　V0120　　単第0 -0040　表

95.5kw 2t車　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	36.6	L			
運転手(一般)	1.0	人			
ＴＶカメラ搭載車損料 95.5kw 2t車	6.0	時間			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			

施工単価表

管きょ内洗浄工　　V0210　　単第0 -0041　表

1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役 清掃技師	1.0	人			
特殊作業員 清掃作業員	1.0	人			
高圧洗浄車運転工 147kw 4t車	1.0	日			単第0-0042　表
給水車運転工 132kw 4t車	1.0	日			単第0-0043　表
諸雑費	1	式			
1m当り		m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

高圧洗浄車運転工　V0220　単第0 -0042　表

147kw 4t車　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 スタンド渡し,スタンド給油	39.0	L			
運転手(特殊)	1.0	人			
高圧洗浄車損料 147kw 4t車	6.0	時間			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			

施工単価表

給水車運転工　　V0230　　単第0 -0043　表

132kw 4t車　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 スタンド渡し,スタンド給油	34.8	L			
運転手(一般)	1.0	人			
給水車損料 132kw 4t車	6.0	時間			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			

施工単価表

報告書作成工　　V0310　　単第0 -0044　表

1　　m　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
測量主任技師（外業） 管理技師	1.0	人			
測量技師（外業） 管路調査技師	1.0	人			
測量技師補（外業） 管路調査助手	1.0	人			
ＤＶＤ	1	枚			
写真代	1	式			
雑材料	10	%			#01
1m当り		m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

組立1号マンホール　　SG1D0053002　　単第0 -0045　表

1号(内径900㎜)　深さ3m以下　　1　　箇所　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
組立マンホール設置工【手間のみ】 1号(内径900㎜) 3m以下	1	箇所			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			
A=1　1号(内径900㎜)　深さ3m以下 C=1　-			B=1　[規]4箇所以上 D=1　-		

施工単価表

内副管取付工　　SG1D0051002　　単第0 -0046　表

1　箇所　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.15	人			
特殊作業員	0.15	人			
普通作業員	0.15	人			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			
A=1　　段差 1.0m未満					

施工単価表

仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬　　S1000007　　単第0 -0047　表

運搬距離 2.6km　　製品長 12m以内　　1　　式　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
基本運賃 運搬距離 2.6km 製品長 12m以内 運搬質量 0.582t	1.000	式			単第0-0048　表
往復					
積込み,取卸しに要する費用	1.000	式			単第0-0049　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=2.6　運搬距離(km) C=1　- E=0.582　運搬質量(t)			B=1　12m以内 D=1　- F=1　-		
H=1　- L=1　基地積込み・取卸し,現場積込み・取卸し			J=1　-		

施工単価表

基本運賃　　S1000009　　単第0 -0048　表

運搬距離 2.6km　　製品長 12m以内 運搬質量 0.582t　　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
基本運賃	1.000	式			※直接経費の対象外
t当り基本運賃	0.582	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=1　基本運賃 C=1　12m以内			B=2.6　運搬距離(km) D=0.582　運搬質量(t)		

施工単価表

積込み,取卸しに要する費用　　S1000009　　単第0 -0049　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材積込み費（基地）	0.582	t			
仮設材取卸し費（現場）	0.582	t			
仮設材積込み費（現場）	0.582	t			
仮設材取卸し費（基地）	0.582	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=5　積込み,取卸しに要する費用 K=1　基地積込み・取卸し,現場積込み・取卸し			D=0.582　運搬質量(t)		

施工単価表

床掘り　　SPK25040015　　単第0 -0050　表

土砂 現場制約あり　　1　m3　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 100.00%　材料構成比: 0.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 10,668.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	100.00%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
積算単価			積算単価		EP001
A=1　土砂 E=1　-(全ての費用)			B=6　現場制約あり		

施工単価表

機械掘削工(小型バックホウ)　　SG1D0001001　　単第0 -0051　表

1　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.4	人			
普通作業員	6.7	人			
機-18_小型バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.13m3(平積0.10m3)	2.273	日			単第0-0052　表 100/44
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=2　　山積0.13m3					

施工単価表

機-18_小型バックホウ運転　　SM1802010　　単第0 -0052　表

113_標準型 排2　　山積0.13m3(平積0.10m3)　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	23.00	L			
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	1.78	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=3　113_標準型 排2 C=1　運転労務数量(人/日) E=1.78　機械損料数量(供用日/日)			B=13　山積0.13m3(平積0.10m3) D=23　燃料消費量(L/日)		

施工単価表

人力投入埋戻工　　SG1D0002001　　単第0 -0053　表

1　　m3　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員	23.0	人			
タンパ締固め	100	m3			単第0-0004　表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=6　　材料別途					

施工単価表

機械投入埋戻工(小型バックホウ)　　SG1D0002002　　単第0 -0054　表

1　　m3　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
機-18_小型バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.13m3(平積0.10m3)	1.538	日			単第0-0052　表 100/65
タンパ締固め	100	m3			単第0-0004　表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=2　　山積0.13m3			B=6　　材料別途		

施工単価表

人力投入埋戻工　　SG1D0002001　　単第0 -0055　表

1　　m3　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員	23.0	人			
再生砂	126.320	m3			
タンパ締固め	100	m3			単第0-0004　表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=2　　再生砂			C=126.32　　土量変化率を考慮した埋戻土量(m3/100m3)		

施工単価表

機械投入埋戻工(小型バックホウ)　　SG1D0002002　　単第0 -0056　表

1　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
再生砂	126.320	m3			
機-18_小型バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.13m3(平積0.10m3)	1.538	日			単第0-0052　表 100/65
タンパ締固め	100	m3			単第0-0004　表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=2　山積0.13m3 D=126.32　土量変化率を考慮した埋戻土量(m3/100m3)			B=2　再生砂		

施工単価表

土砂等運搬　　SPK25040002　　単第0 -0057　表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)　　DID区間有り　距離24.0km以下(15.0km超)　　1　　m3　　当り

機械構成比:　20.25%　　労務構成比:　71.03%　　材料構成比:　8.72%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　9,967.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.03%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	8.72%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2　小規模 C=1　土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=54　距離24.0km以下(15.0km超)			B=6　バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3) D=2　DID区間有り		

施工単価表

砂基礎工(人力施工)　　SG1D0019001　　単第0 -0058　表

1　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
砂基礎設置【手間のみ】 人力施工	1	m3			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=3　材料別途 E=1　-			D=1　-		

施工単価表

小型マンホール工（塩化ビニル製）　SG1D0057001　単第0 -0059　表

マンホール径300㎜　起点および中間形式　深さ2m以下　本管径150㎜～200㎜　1　箇所　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
小型マンホール工(塩化ビニル製)【材工共】 マンホール径300㎜ 深さ2m以下,本管径150㎜および200㎜	1	箇所			
加算額【手間のみ】 鋳鉄製防護蓋設置費	1	箇所			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			
A=1　起点および中間形式 C=1　[規]5箇所以上 E=1　-			B=1　深さ2m以下　本管径150㎜～200㎜ D=1　- F=1　-		
G=2　鋳鉄製防護蓋を設置する場合					

施工単価表

取付管布設および支管取付工　　SG1D0089002　　単第0 -0060　表

管径　１５０mm　　1　箇所　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
取付管布設工および支管取付工【材工共】 管径150	1	箇所			
取付管布設工および支管取付工【材工共】 管径150 可とう性支管設置 加算額	1	箇所			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			
A=3　管径　１５０mm C=1　- E=2　取付管長が3m未満			B=1　[規]5箇所以上 D=1　- F=1　-		
G=2　可とう性支管を設置する場合					

施工単価表

舗装版切断　　SPK25040307　　単第0 -0061　表

コンクリート舗装版　　コンクリート舗装版厚15cm以下　　1　m　当り

機械構成比: 13.11%　労務構成比: 50.94%　材料構成比: 35.95%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,264.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	8.92%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	17.37%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.50%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	7.79%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	32.35%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.45%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版切断　　SPK25040307　　単第0 -0061　表

コンクリート舗装版　　コンクリート舗装版厚15cm以下　　1　m　当り

機械構成比: 13.11%　労務構成比: 50.94%　材料構成比: 35.95%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,264.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=2 コンクリート舗装版 E=1 -(全ての費用)			C=1 コンクリート舗装版厚15cm以下		

施工単価表

構造物とりこわし工(無筋構造物)　SDT00031　単第0 -0062　表

人力施工　1　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_無筋構造物【手間のみ】 人力施工 時間的制約なし	1.000	m3			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=1　昼間施工 D=1　時間的制約なし			B=2　人力施工		

施工単価表

殻運搬　　SPK25040155　　単第0 -0063　表

舗装版破砕　　DID区間有り　運搬距離4.5km以下(3.5km超)　　1　m3　当り

機械構成比:　20.25%　労務構成比:　71.03%　材料構成比:　8.72%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　4,319.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.03%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	8.72%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3　舗装版破砕 C=2　DID区間有り E=1　-(全ての費用)			B=4　機械積込(小規模土工) D=20　運搬距離4.5km以下(3.5km超)		

施工単価表

殻運搬　　SPK25040155　　単第0 -0064　表

Co(無筋)構造物とりこわし　　DID区間有り　運搬距離5.7km以下(3.3km超)　　1　　m3　　当り

機械構成比:　40.77%　　労務構成比:　44.82%　　材料構成比:　14.41%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　1,527.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　Co(無筋)構造物とりこわし C=2　DID区間有り E=1　-(全ての費用)			B=1　機械積込 D=25　運搬距離5.7km以下(3.3km超)		

施工単価表

下層路盤(歩道部)　SPK25040236　単第0 -0065　表

全仕上り厚140㎜ 1層施工　RC-30　1　m2　当り

機械構成比: 5.00%　労務構成比: 75.15%　材料構成比: 19.85%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 857.31000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 山積0.09/平積0.07m3	2.99%		小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 山積0.09/平積0.07m3		MTPC00169 MTPT00169
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.78%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	27.03%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	15.84%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	15.70%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.01%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャラン 30～0㎜	17.77%		再生クラッシャーラン RC-40 [標準数量]全仕上り厚100㎜		TTPCD0018 TTPT00352

施工単価表

下層路盤(歩道部)　　SPK25040236　　単第0 -0065　表

全仕上り厚140mm 1層施工　　RC-30　　1　　m2　　当り

機械構成比:　5.00%　　労務構成比:　75.15%　　材料構成比:　19.85%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　857.31000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.99%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=140　全仕上り厚(mm) D=1　-(全ての費用)			B=3　RC-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):140.000(mm)					

施工単価表

表層(歩道部)　SPK25040247　単第0 -0066　表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)　1層当り平均仕上厚50mm　1　m2　当り

機械構成比: 0.46%　労務構成比: 52.19%　材料構成比: 47.35%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 2,244.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t	0.31%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクタ 前進型 運転質量40～60kg	0.08%		振動コンパクタ 前進型 運転質量40～60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	20.25%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.10%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.52%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	41.40%		再生密粒度As混合物(13) [標準数量]平均仕上り厚40mm		TTPCD0038 TTPT00293
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	5.78%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

施工単価表

表層(歩道部)　　SPK25040247　　単第0 -0066　表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)　　1層当り平均仕上厚50mm　　1　　m2　　当り

機械構成比:　0.46%　　労務構成比:　52.19%　　材料構成比:　47.35%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　2,244.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.10%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.04%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1　平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=6　再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1　- I=1　-(全ての費用)			B=50　1層当り平均仕上り厚(mm) E=2　PK-3 H=1　-		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

コンクリート　　SPK25040157　　単第0 -0067　表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB　　バックホウ(クレーン機能付)打設　　1　m3　当り

機械構成比: 3.50%　労務構成比: 34.96%　材料構成比: 61.54%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 36,531.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	3.31%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.07%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.38%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.04%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.40%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	59.80%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.65%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

コンクリート　　SPK25040157　　単第0 -0067　表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB　　バックホウ(クレーン機能付)打設　　1　m3　当り

機械構成比: 3.50%　労務構成比: 34.96%　材料構成比: 61.54%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 36,531.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB J=1 -			B=2 バックホウ(クレーン機能付)打設 F=2 一般養生 K=1 -(全ての費用)		

施工単価表

取付管布設および支管取付工　　SG1D0089002　　単第0 -0068　表

管径　１５０mm　　1　　箇所　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
取付管布設工および支管取付工【材工共】 管径150	1	箇所			
取付管布設工および支管取付工【材工共】 管径150 可とう性支管設置 加算額	1	箇所			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			
A=3　管径　１５０mm C=1　- E=3　取付管長が5m以上12m未満			B=1　[規]5箇所以上 D=1　- F=1　-		
G=2　可とう性支管を設置する場合					

施工単価表

仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬　　S1000007　　単第0 -0069　表

運搬距離 2.6km　　製品長 12m以内　　1　　式　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
基本運賃 運搬距離 2.6km 製品長 12m以内 運搬質量 1.56t	1.000	式			単第0-0070　表
往復					
積込み,取卸しに要する費用	1.000	式			単第0-0071　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=2.6　運搬距離(km) C=1　- E=1.56　運搬質量(t)			B=1　12m以内 D=1　- F=1　-		
H=1　- L=1　基地積込み・取卸し,現場積込み・取卸し			J=1　-		

施工単価表

基本運賃　　S1000009　　単第0 -0070　表

運搬距離 2.6km　　製品長 12m以内 運搬質量 1.56t　　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
基本運賃	1.000	式			※直接経費の対象外
t当り基本運賃	1.560	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=1　基本運賃 C=1　12m以内			B=2.6　運搬距離(km) D=1.56　運搬質量(t)		

施工単価表

積込み,取卸しに要する費用　　S1000009　　単第0 -0071　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材積込み費（基地）	1.560	t			
仮設材取卸し費（現場）	1.560	t			
仮設材積込み費（現場）	1.560	t			
仮設材取卸し費（基地）	1.560	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=5　積込み,取卸しに要する費用 K=1　基地積込み・取卸し,現場積込み・取卸し			D=1.56　運搬質量(t)		

1. 数 量 計 算 書

中之町（三原東処理分区）

単独工区　（その18）

塩ビ管管布設工集計表

（　18　）工区　補・単

名称	形状・寸法	数量内訳書 No.1	No.2	No.3	No.4		合計	単位	設計数量
管路土工	管路掘削　人力							m^3	
	管路埋戻（発生土）　人力							m^3	
	管路埋戻（砂）　人力							m^3	
	発生土処理　人力　2 t車							m^3	
	管路掘削　BH　0.13 m^3							m^3	
	管路埋戻（発生土）　BH　0.13 m^3							m^3	
	管路埋戻（砂）　BH　0.13 m^3							m^3	
	発生土処理　BH　0.13 m^3　2 t車							m^3	
	管路掘削　BH　0.28 m^3							m^3	
	管路埋戻（発生土）　BH　0.28 m^3							m^3	
	管路埋戻（砂）　BH　0.28 m^3							m^3	
	発生土処理　BH　0.28 m^3　4 t車							m^3	
	管路掘削　BH　0.45 m^3		69.8				69.8	m^3	
	管路埋戻（発生土）　BH　0.45 m^3		41.7				41.7	m^3	
	管路埋戻（砂）　BH　0.45 m^3		12.4				12.4	m^3	
	発生土処理　BH　0.45 m^3　10 t車		23.5				23.5	m^3	
管基礎工	砂基礎		4.5				4.5	m^3	
	砂基礎延長		47.1				47.1	m	
管布設工	路線延長		48.00				48.00	m	
	管体延長		47.10				47.10	m	
	ゴム輪受け口片受直管 φ200 mm×4.00m		11				11	本	
	プレーンエンド直管 φ200 mm×4.00m		1				1	本	
	可とう継手 φ200 mm		2				2	個	
	自在継手 φ200 mm							個	
	副管用マンホール継手 φ200 mm×1.00m							個	
	上流用マンホール継手 φ200 mm×0.50m							個	
	内副管用T字継手 φ200 mm×1.00m							個	

三原市

塩 ビ 管 管 布 設 工(No.2)

矢板施工

(18)工区 補・(単)

管径 φ =	200	mm					
現況表層厚=	0.05	m	道路幅員 =		m	復旧表層厚=	0.05 m
現況路盤厚=	0.10	m (上下路盤)	掘削幅 =	0.95	m	復旧路盤厚=	0.20 m

路線名	人孔番号	人孔間延長	人孔減長	掘削深	※掘削工の選定は、市指針参照。 掘削土量 人力	BH 0.13m3	BH 0.28m3	BH 0.45m3	管延長	ゴム輪受け口片受け直管 (SRA)	プレーンエンド直管 (PE)	マンホール可とう継手	自在継手	備考(平均掘削幅)
		m	m	m	m3	m3	m3	m3	m	m	m	個	個	
2676	2676-1 2676-2	48.00	0.45 0.45	1.53 1.58				69.8	47.10	44.0	3.10	2		0.95
	計	48.00						69.8	47.10	44.0	3.10	2		

本管						
プレーンエンド直管	3.1	÷	4.00	m/本=	1	本
ゴム輪受け口片受直管	44.0	÷	4.00	m/本=	11	本

土工									
掘削	人力掘削工	人 力	m3	合計	発生土埋戻		砂埋戻	残土	
掘削	機械掘削工	バックホウ 0.13 m3	m3						
掘削	機械掘削工	バックホウ 0.28 m3	m3						
掘削	機械掘削工	バックホウ 0.45 m3	69.8 m3	69.8 m3		41.7	12.4		23.5

埋戻	発生土	V= 69.8 -(0.416 × 0.95 + 0.20 × 0.95) × 48.00 =	41.7 m3	平均掘削深 1.53
				砂埋戻 基礎工 上幅 0.95 / 下幅 0.95
埋戻	砂埋戻	V= {(0.316×0.95) 0.785 × 0.216 2)} × 47.10 =	12.4 m3	砂埋戻 上幅 0.95 / 下幅 0.95
埋戻	砂基礎工	V= 0.95 × 0.10 × 47.10	4.5 m3	
残土		V= 69.8 -(41.7 ÷ 0.9)=	23.5 m3	管廻り埋戻高= 0.316 管外径 = 0.216 砂埋戻高 = 0.416 砂基礎高 = 0.10

三原市

土 留 工 集 計 表

(18)工区 補・単

名 称	形状・寸法	数量内訳書 No. 1	No. 2	No. 3	No. 4		合計	単位	設計数量
	建込簡易土留工 H=2.00m							m	
	建込簡易土留工 H=2.50m							m	
	建込簡易土留工 H=3.00m							m	
	建込簡易土留工 H=3.50m							m	
	軽量鋼矢板建込工(1段) H=2.00m		48.0				48.0	m	
	軽量鋼矢板建込工(1段) H=2.50m							m	
	軽量鋼矢板建込工(2段) H=2.50m							m	
	軽量鋼矢板建込工(2段) H=3.00m							m	

塩ビ管管布設土留工(No.2)

路線名	人孔番号	人孔間延長	掘削深	素掘	建込簡易土留工				軽量鋼矢板建込工			
		m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m
					L-2.00	L-2.50	L-3.00	L-3.50	L-2.00	L-2.50	L-2.50	L-3.00
									1段	1段	2段	2段
		m			m	m	m	m	m	m	m	m
2676	2676-1 2676-2	48.00	1.58						48.00			
計									48.00			

建込簡易土留工	H=2.0m2		
建込簡易土留工	H=2.5m2		
建込簡易土留工	H=3.0m2		
建込簡易土留工	H=3.5m2		
軽量鋼矢板建込工	H=2.0m2	48.00	
軽量鋼矢板建込工	H=2.5m2		
軽量鋼矢板建込工	H=2.5m2		
軽量鋼矢板建込工	H=3.0m2		

三　原　市

1号組立人孔設置工数量総括表

		形状寸法	No.1	No.2	No.3		数量	単位	摘要
	人孔鉄蓋	T-25（転落防止）						組	
	人孔鉄蓋	T-25（一般）	1				1	組	
	マンホール蓋固定工	調整高	0.01				0.01	m	
	調整リング	600×200							
	調整リング	600×150	1				1	個	
	調整リング	600×100						個	
	調整リング	600×50						個	
	斜壁	600/900 ×600						個	
躯	斜壁	600/900 ×450	1				1	個	
	斜壁	600/900 ×300						個	
体	直壁	900×1500						個	
	直壁	900×1200						個	
	直壁	900×900						個	
材	直壁	900×600						個	
	直壁	900×300						個	
料	く体ブロック	900×1800						個	
	く体ブロック	900×1500						個	
	く体ブロック	900×1200	1				1	個	
	く体ブロック	900×900						個	
	く体ブロック	900×600						個	
	底版		1				1	個	
	ブロック据付工	2.0m以下	1				1	箇所	
	ブロック据付工	3.0m以下						箇所	
	ブロック据付工	4.0m以下						箇所	
施	削孔工	φ200						箇所	
	削孔工	φ150	1				1	箇所	
工	底部工		1				1	箇所	
	底部工(インバートなし)							箇所	
	インバート工							箇所	

組立　1　号マンホール設置工　No.1

（　18　）工区　補・単

路線名	人孔番号	人孔深	流出管			流入管				副管		鉄蓋		受枠変形防止金具	調整高	調整リング				斜壁ブロック			床版斜壁	直壁ブロック						躯体ブロック					底版
			管種	管径	管底高	管種	管径	管底高	削孔	管径	段差	一般	転落防止			600				φ600 / φ900				φ900						φ900					
				mm	m		mm	m		mm	m	組	組	個	H	50	100	150	200	300	450	600	150	300	600	900	1200	1500	1800	600	900	1200	1500	1800	
																個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個
		車道										1		1				1			1													
2676	2676-2	1.750	VU	200	11.510	VU	150	11.970	1						0.010																			1
計							削孔	VU150	1	箇所		1		1	0.010			1			1										1				1
								VU75		箇所																									
								VU200		箇所																									

ブロック据付	2.0m以下	1	箇所	副管工	1m未満		半割管	m	1箇所当り	インバートコンクリート	0.18	m^3
	2.0～3.0m以下		箇所		1.0m～1.5m					モルタル上塗り	0.84	m^2
	3.0～4.0m以下		箇所		1.5m～2.0m					砕石基礎	0.95	m^2

三原市

取 付 管 工 集 計 表

(18)工区　補・(単)

名 称	形状・寸法	数量内訳書 No.1	No.2				合計	単位	設計数量
取付管工	取付管箇所	4					4	箇所	
	取付管延長	12.40					12.40	m	
	平均取付管延長						3.10	m	
	プレーンエンド直管 φ150×4.00m	10.48					10.48	m	
							3	本	
	90° 可とう支管 φ150	3					3	個	
	60° 曲管 φ150 mm	3					3	個	
	30° 曲管 φ150 mm							個	
	SRB片受直管 φ150×0.80m	3					3	個	
	塩ビ製人孔用支管 φ150×300mm							個	
	可とうマンホール継手 φ150	1					1	個	
	自在管φ150	4					4	個	
	本管接続	3					3	箇所	
	マンホール接続	1					1	箇所	
	塩ビ製マンホール接続							箇所	
土工	人力掘削							m^3	
	機械掘削 BH 0.28 m^3	6.7					6.7	m^3	
	発生土埋戻し 人力							m^3	
	〃 BH 0.28 m^3	5.2					5.2	m^3	
	砂埋戻し・砂基礎 人力							m^3	
	〃 BH 0.28 m^3	1.3					1.3	m^3	
	残土処分 BH 0.28 m^3 4t車	0.9					0.9	m^3	
ます設置工	塩ビ製桝 φ 200 mm 1.5 m以下	4					4	箇所	
	鋳鉄製防護蓋 φ 200 mm用	3					3	箇所	
	塩ビ製密閉蓋 φ 200 mm用	1					1	箇所	

三原市

取　付　管　工

（　18　）工区　補・単

（現況舗装構成）
舗装表層 = 0.05 m
上層路盤 = 0.10 m
下層路盤 = m

道路幅員 = 〜 m
本管掘削幅 = m
取付管掘削 = 0.55 m

（復旧舗装構成）
舗装表層厚 = 0.05 m
上層路盤厚 = 0.10 m
下層路盤厚 = 0.10 m

φ 150 mm

路線名	数量 宅	数量 道	取付管延長	小計	本管土被	a 掘削深	b 掘削幅	c 掘削延長		a×b×c 掘削土量	本管接続	人孔接続	塩ビ人孔接続	塩ビ人孔用支管	可とう支管 90°	曲管 60°	PE直管	SRB	桝設置工 1.5m以下	鋳鉄製防護蓋	塩ビ製密閉蓋
	箇所		箇所×延長	m	m	m	m	m		m³	箇所	箇所	箇所	個	個	個	m		箇所	箇所	箇所
2676	右	2	2× 4.30	8.60	1.28	1.04 0.99	0.65	8.60−(0.48×2)=	7.64	4.9	1	1			1	1	7.64	1	2	2	
	左 1	1	2× 1.90	3.80	1.28	1.04 0.99	0.65	3.80−(0.48×2)=	2.84	1.8	2				2	2	2.84	2	2	1	1
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
計	1	3		12.40					10.48	6.7	箇所 3	箇所 1	箇所	ケ	ケ 3	ケ 3	m 10.48	ケ 3	箇所 4	箇所 3	1

配管延長		m 12.40				
				プレーンエンド直管		m 10.48
掘削	人力	m³	発生土埋戻	6.7−(0.575×0.25×10.48)		m³ 5.2
	BH0.28m³	m³ 6.7	砂・砂基礎埋戻	(0.575×0.25−0.15^2×0.785)×10.48		m³ 1.3
残土				自在管 φ150		個 4
	6.7−(5.2÷0.9)	m³ 0.9				

三原市

付　帯　工　集　計　表

（　　18　　）工区　補・単

名　称	形状・寸法		数量内訳書					合計	単位	設計数量
			No. 1	No. 2	No. 3	No. 4				
	アスファルト切断工	t=15cmまで		96.0				96.0	m	
	舗装撤去工			180.0				180.0	m^2	
	舗装殻処分工			9.0				9.0	m^3	
	仮舗装工	As t=3cm		45.6				45.6	m^2	
	仮舗装撤去			45.6				45.6	m^2	
	仮舗装殻処分工			1.4				1.4	m^3	
	本舗装復旧工（全面幅）	密粒度As　t=5cm		180.0				180.0	m^2	
	上層路盤工	粒調砕石　t=12cm		45.6				45.6	m^2	
	下層路盤工	再生切込砕石 t=10cm		45.6				45.6	m^2	
	不陸整正			134.4				134.4	m^2	

三原市

塩ビ管管布設付帯工(No.2)

(　　18)工区　補・(単)

現況表層厚 =	0.05 m	道路幅員 =	m	復旧表層厚 =	0.05 m
現況路盤厚 =	0.10 m	掘削幅 =	0.95 m	復旧路盤厚 =	0.20 m

路線名	人孔番号	人孔間延長 (m)	平均掘削深 (m)	舗装切断工(アスファルト) t= 5 cm	m	路盤工 t= 10+12 cm A=掘削幅×延長	m^2	表層工 t= 5 cm A=復旧幅×延長	m^2
2676	2676-1 2676-2	48.00	1.53	48.00×2=	96.00	0.95×48.00=	45.6	3.75×48.00=	180.0
	計	48.00			96.00		45.6		180.0

アスファルト切断工				96.00 m
舗装撤去工				180.0 m^2
舗装殻処分工	t= 5 cm=	180 ×	0.05 =	9.0 m^3
仮舗装工				45.6 m^2
仮舗装撤去				45.6 m^2
仮舗装殻処分工	t= 3 cm=	45.6 ×	0.03 =	1.4 m^3
舗装復旧工				180.0 m^2
上層路盤工	t= 12 cm	粒調砕石		45.6 m^2
下層路盤工	t= 10 cm	再生切込砕石		45.6 m^2
不陸整正		180.0 − 45.6	=	134.4 m^2

取 付 管 布 設 付 帯 工 集 計 表

（　18　）工区　　補・(単)

名　称	形状・寸法		数量内訳書				合計	単位	設計数量
			As	Co					
付　帯　工	舗装切断工(As)	t≦20cm	13.00				13.00	m	
	舗装切断工(Co)	t≦20cm						m	
	舗装版破砕工(As)	t=10cm以下(現況)	4.88				4.88	m^2	
	〃	t=10cm以下(仮舗)	4.88				4.88	m^2	
	舗装版破砕工(Co)	t=7cm以下(現況)						m^2	
	殻運搬処理(As)	(現況)	0.1				0.10	m^3	
	〃	(仮舗)	0.1				0.10	m^3	
	殻運搬処理(Co)	(現況)						m^3	
	表層工(本舗装)	再生密粒度アスコン t= 5 cm						m^2	
	表層工(仮舗装)	再生粗粒度アスコン t= 3 cm	4.88				4.88	m^2	
	表層工(本舗装)	ｾﾒﾝﾄｺﾝｸﾘｰﾄ t= 7 cm						m^2	
	下層路盤工(車道)	再生切込砕石 t= 10 cm	4.88				4.88	m^2	
	上層路盤工(車道)	粒調砕石 t= 12 cm	4.88				4.88	m^2	
	路盤工(車道)	再生切込砕石 t= 14 cm						m^2	

三原市

取 付 管 布 設 付 帯 工

(18-1工区 補・単)

現況表層厚 = 0.05 m　道路幅員 = m　復旧表層厚 = 0.05 m
現況路盤厚 = 0.10 m　掘削幅 = m　復旧路盤厚 = 0.20 m

路線名	人孔番号	舗装延長 (m)	本管掘削幅 (m)	掘削深 (m)	取付箇所	舗装切断工(アスファルト) t= 5 cm	m	路盤工 t= 20 cm A=掘削幅×延長	m^2	表層工 t= 5 cm A=復旧幅×延長	m^2
2676		4.30	0.95	0.99	2	(4.30-1.48)×2×2=	11.30	0.75×2×(4.30-1.48)=	4.24		
		1.90	0.95	0.99	2	(1.90-1.48)×2×2=	1.70	0.75×2×(1.90-1.48)=	0.64		
	計						13.00		4.88		

(アスファルト)

アスファルト切断	15 cm		13.00 m
上層路盤工	12 cm	粒調砕石	4.9 m2
下層路盤工	10 cm	再生切込砕石	4.9 m2
仮舗装工	3 cm		4.9 m2
仮舗装撤去			4.9 m2
仮舗装殻処分工 t=	3 cm=	4.88 ×	0.03 = 0.1 m^3

三原市

1. 数 量 計 算 書

中之町（三原東処理分区）

補助工区　（その18）

塩 ビ 管 管 布 設 工 集 計 表

（ 18 ）工区 補・単

名 称	形状・寸法	数量内訳書 No. 1	No. 2	No. 3	No. 4		合計	単位	設計数量
管路土工	管 路 掘 削 人力							m^3	
	管 路 埋 戻（発生土） 人力							m^3	
	管 路 埋 戻（砂） 人力							m^3	
	発生土処理 人力 2 t車							m^3	
	管 路 掘 削 BH 0.13 m^3							m^3	
	管 路 埋 戻（発生土） BH 0.13 m^3							m^3	
	管 路 埋 戻（砂） BH 0.13 m^3							m^3	
	発生土処理 BH 0.13 m^3 2 t車							m^3	
	管 路 掘 削 BH 0.28 m^3							m^3	
	管 路 埋 戻（発生土） BH 0.28 m^3							m^3	
	管 路 埋 戻（砂） BH 0.28 m^3							m^3	
	発生土処理 BH 0.28 m^3 4 t車							m^3	
	管 路 掘 削 BH 0.45 m^3		5.1				5.1	m^3	
	管 路 埋 戻（発生土） BH 0.45 m^3		3.1				3.1	m^3	
	管 路 埋 戻（砂） BH 0.45 m^3		0.7				0.7	m^3	
	発生土処理 BH 0.45 m^3 10 t車		1.7				1.7	m^3	
管 基 礎 工	砂 基 礎		0.2				0.2	m^3	
	砂基礎延長		2.6				2.6	m	
管 布 設 工	路 線 延 長		3.50				3.50	m	
	管 体 延 長		2.60				2.60	m	
	ゴム輪受け口片受直管 φ 200 mm×4.00m							本	
	プレーンエンド直管 φ 200 mm×4.00m		1				1	本	
	可とう継手 φ 200 mm		2				2	個	
	自在継手 φ 200 mm							個	
	副管用マンホール継手 φ 200 mm×1.00m							個	
	上流用マンホール継手 φ 200 mm×0.50m							個	
	内 副 管 用 T 字 継 手 φ 200 mm×1.00m							個	

三原市

塩ビ管管布設工(No.2)

矢板施工　　(　18　)工区　補・単

管径 φ =	200 mm						
現況表層厚 =	0.05 m		道路幅員 =	m	復旧表層厚 =	0.05 m	
現況路盤厚 =	0.10 m	(上下路盤)	掘削幅 =	0.95 m	復旧路盤厚 =	0.20 m	

路線名	人孔番号	人孔間延長	人孔減長	掘削深	※掘削工の選定は、市指針参照。掘削土量 人力	BH 0.13m³	BH 0.28m³	BH 0.45m³	管延長	片受け直管 ゴム輪受け口 (SRA)	直管 プレーンエンド (PE)	可とう継手 マンホール	自在継手	備考(平均掘削幅)
		m	m	m	m³	m³	m³	m³	m	m	m	個	個	
2676	2677-2	3.50	0.45	1.54				5.1	2.60		2.60	2		0.95
	2676-1		0.45	1.59										
	計	3.50						5.1	2.60		2.60	2		

本管	プレーンエンド直管	2.6	÷	4.00 m/本=	1 本
	ゴム輪受け口片受直管		÷	4.00 m/本=	本

土工										
掘削	人力掘削工	人力	m³	合計	発生土埋戻		砂埋戻		残土	
	機械掘削工	バックホウ 0.13 m³	m³							
	機械掘削工	バックホウ 0.28 m³	m³							
	機械掘削工	バックホウ 0.45 m³	m³ 5.1	m³ 5.1		3.1		0.7		1.7

埋戻					
発生土	V= 5.1 −(0.416 × 0.95 + 0.20 × 0.95) × 3.50 =	m³ 3.1	平均掘削深 1.54		
			砂埋戻基礎工	上幅	0.95
				下幅	0.95
砂埋戻	V= {(0.316×0.95) 0.785 × 0.216 ²} × 2.60 =	m³ 0.7	砂埋戻	上幅	0.95
				下幅	0.95
砂基礎工	V= 0.95 × 0.10 × 2.60	m³ 0.2			
残土	V= 5.1 −(3.1 ÷ 0.9)=	m³ 1.7	管廻り埋戻高= 0.316		
			管外径 = 0.216		
			砂埋戻高 = 0.416		
			砂基礎高 = 0.10		

三原市

土 留 工 集 計 表

(18)工区 補・単

名 称	形状・寸法	数量内訳書					合計	単位	設計数量
		No. 1	No. 2	No. 3	No. 4				
	建込簡易土留工 H=2.00m							m	
	建込簡易土留工 H=2.50m							m	
	建込簡易土留工 H=3.00m							m	
	建込簡易土留工 H=3.50m							m	
	軽量鋼矢板建込工(1段) H=2.00m		3.5				3.5	m	
	軽量鋼矢板建込工(1段) H=2.50m							m	
	軽量鋼矢板建込工(2段) H=2.50m							m	
	軽量鋼矢板建込工(2段) H=3.00m							m	

塩ビ管管布設土留工(No.2)

路線名	人孔番号	人孔間延長	掘削深	素掘	建込簡易土留工				軽量鋼矢板建込工			
		m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m
					L-2.00	L-2.50	L-3.00	L-3.50	L-2.00	L-2.50	L-2.50	L-3.00
									1段	1段	2段	2段
		m			m	m	m	m	m	m	m	m
2676	2677-2 2676-1	3.50	1.59						3.50			
計									3.50			

建込簡易土留工	H=2.0m2		
建込簡易土留工	H=2.5m2		
建込簡易土留工	H=3.0m2		
建込簡易土留工	H=3.5m2		
軽量鋼矢板建込工	H=2.0m2	3.50	
軽量鋼矢板建込工	H=2.5m2		
軽量鋼矢板建込工	H=2.5m2		
軽量鋼矢板建込工	H=3.0m2		

三　原　市

1号組立人孔設置工数量総括表

		形状寸法	No.1	No.2	No.3		数量	単位	摘要
	人孔鉄蓋	T-25（転落防止）						組	
	人孔鉄蓋	T-25（一般）	1				1	組	
	マンホール蓋固定工	調整高	0.02				0.02	m	
	調整リング	600×200	1				1		
	調整リング	600×150						個	
	調整リング	600×100						個	
	調整リング	600×50						個	
	斜壁	600/900 ×600						個	
躯	斜壁	600/900 ×450	1				1	個	
	斜壁	600/900 ×300						個	
体	直壁	900×1500						個	
	直壁	900×1200						個	
	直壁	900×900						個	
材	直壁	900×600						個	
	直壁	900×300						個	
料	く体ブロック	900×1800						個	
	く体ブロック	900×1500						個	
	く体ブロック	900×1200	1				1	個	
	く体ブロック	900×900						個	
	く体ブロック	900×600						個	
	底版		1				1	個	
	ブロック据付工	2.0m以下	1				1	箇所	
	ブロック据付工	3.0m以下						箇所	
	ブロック据付工	4.0m以下						箇所	
施	削孔工	φ200	1				1	箇所	
	削孔工	φ150						箇所	
工	底部工		1				1	箇所	
	底部工(インバートなし)							箇所	
	インバート工							箇所	

組立　1　号マンホール設置工　No.1

（　18　）工区　補・単

路線名	人孔番号	人孔深	流出管			流入管				副管		鉄蓋		受枠変形防止金具	調整高	調整リング				斜壁ブロック			床版斜壁	直壁ブロック						躯体ブロック					底版
			管種	管径	管底高	管種	管径	管底高	削孔	管径	段差	一般	転落防止			600				φ600 / φ900				φ900						φ900					
				mm	m		mm	m		mm	m	組	組	個	H	50	100	150	200	300	450	600	150	300	600	900	1200	1500	1800	600	900	1200	1500	1800	
																個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個
2676	2676-1	車道 1.811	VU	200	10.659	VU	200	11.270	1			1		1	0.021				1		1										1				1
計							削孔	VU150		箇所		1		1					1		1										1				1
								VU75		箇所																									
								VU200	1	箇所																									

ブロック据付	2.0m以下	1	箇所	副管工	1m未満		半割管	m	1箇所当り
	2.0～3.0m以下		箇所		1.0m～1.5m				
	3.0～4.0m以下		箇所		1.5m～2.0m				

インバートコンクリート	0.18	m^3
モルタル上塗り	0.84	m^2
砕石基礎	0.95	m^2

三原市

付　帯　工　集　計　表

（　　18　　）工区　補・単

名　称	形状・寸法		数量内訳書					合計	単位	設計数量
			No.1	No.2	No.3	No.4				
	アスファルト切断工	t=15cmまで		7.0				7.0	m	
	舗装撤去工			13.1				13.1	m^2	
	舗装殻処分工			0.7				0.7	m^3	
	仮舗装工	As t=3cm		3.3				3.3	m^2	
	仮舗装撤去			3.3				3.3	m^2	
	仮舗装殻処分工			0.1				0.1	m^3	
	本舗装復旧工（全面幅）	密粒度As　t=5cm		13.1				13.1	m^2	
	上層路盤工	粒調砕石　t=12cm		3.3				3.3	m^2	
	下層路盤工	再生切込砕石 t=10cm		3.3				3.3	m^2	
	不陸整正			9.8				9.8	m^2	

三原市

塩ビ管管布設付帯工(No.2)

(　　18)工区　補・(単)

現況表層厚 = 0.05 m　道路幅員 = 　m　復旧表層厚 = 0.05 m
現況路盤厚 = 0.10 m　掘削幅 = 0.95 m　復旧路盤厚 = 0.20 m

路線名	人孔番号	人孔間延長 (m)	平均掘削深 (m)	舗装切断工(アスファルト) t= 5 cm	m	路盤工 t= 10+12 cm A=掘削幅×延長	m^2	表層工 t= 5 cm A=復旧幅×延長	m^2
2676	2677-2 2676-1	3.50	1.54	3.50×2=	7.00	0.95×3.50=	3.33	3.75×3.50=	13.1
	計	3.50			7.00		3.33		13.1

アスファルト切断工				7.00 m
舗装撤去工				13.1 m^2
舗装殻処分工	t= 5 cm=	13.13 ×	0.05 =	0.7 m^3
仮舗装工				3.33 m^2
仮舗装撤去				3.33 m^2
仮舗装殻処分工	t= 3 cm=	3.33 ×	0.03 =	0.1 m^3
舗装復旧工				13.1 m^2
上層路盤工	t= 12 cm	粒調砕石		3.3 m^2
下層路盤工	t= 10 cm	再生切込砕石		3.3 m^2
不陸整正		13.1 − 3.33	=	9.8 m^2

三原市

1. 数 量 計 算 書

中之町（三原東処理分区）

単独工区　（その24）

塩ビ管管布設工集計表

（　24　）工区　補・単

名称	形状・寸法	数量内訳書 No.1	No.2	No.3	No.4		合計	単位	設計数量
管路土工	管路掘削　人力	7.1					7.1	m^3	
	管路埋戻（発生土）　人力	3.1					3.1	m^3	
	管路埋戻（砂）　人力	1.5					1.5	m^3	
	発生土処理　人力　2 t車	3.7					3.7	m^3	
	管路掘削　BH　0.13 m^3	6.8		6.7			13.5	m^3	
	管路埋戻（発生土）　BH　0.13 m^3	2.9		3.6			6.5	m^3	
	管路埋戻（砂）　BH　0.13 m^3	1.4		1.4			2.8	m^3	
	発生土処理　BH　0.13 m^3　2 t車	3.5		2.7			6.2	m^3	
	管路掘削　BH　0.28 m^3							m^3	
	管路埋戻（発生土）　BH　0.28 m^3							m^3	
	管路埋戻（砂）　BH　0.28 m^3							m^3	
	発生土処理　BH　0.28 m^3　4 t車							m^3	
	管路掘削　BH　0.45 m^3							m^3	
	管路埋戻（発生土）　BH　0.45 m^3							m^3	
	管路埋戻（砂）　BH　0.45 m^3							m^3	
	発生土処理　BH　0.45 m^3　10 t車							m^3	
管基礎工	砂基礎	1.1		0.5			1.6	m^3	
	砂基礎延長	17.4		8.55			25.965	m	
管布設工	路線延長	18.50		9.00			27.50	m	
	管体延長	17.42		8.55			25.97	m	
	ゴム輪受け口片受直管 φ 200 mm×4.00m	4		2			6	本	
	プレーンエンド直管 φ 200 mm×4.00m	1		1			2	本	
	可とう継手 φ 200 mm	1					1	個	
	自在継手 φ 200 mm							個	
	副管用マンホール継手 φ 200 mm×1.00m							個	
	上流用マンホール継手 φ 200 mm×0.50m							個	
	内副管用T字継手 φ 200 mm×1.00m							個	

三原市

塩ビ管管布設工(No.1)

素掘り　　(　24　)工区　補・単

管径 φ = 200 mm

現況表層厚 = 0.05 m　　道路幅員 = m　　復旧表層厚 = 0.05 m

現況路盤厚 = 0.10 m　(上下路盤)　　掘削幅 = 0.60 m　　復旧路盤厚 = 0.20 m

路線名	人孔番号	人孔間延長	人孔減長	掘削深	※掘削工の選定は、市指針参照。掘削土量 人力	BH 0.13m³	BH 0.28m³	BH 0.45m³	管延長	ゴム輪受け直管口片受け(SRA)	プレーンエンド直管(PE)	マンホール可とう継手	自在継手	備考(平均掘削幅)
		m	m	m	m³	m³	m³	m³	m	m	m	個	個	
2670	2670-4 2670-5	9.00	0.45 0.17	1.07 1.12		6.8			8.39	8.0	0.39	1		0.71
2666	2666-2 2666-3	9.50	0.17 0.30	1.05 1.10	7.1				9.04	8.0	1.04			0.71
	計	18.50			7.1	6.8			17.42	16.0	1.42	1		

本管
プレーンエンド直管　1.42 ÷ 4.00 m/本= 1 本
ゴム輪受け口片受直管　16.0 ÷ 4.00 m/本= 4 本

土工

掘削

		m³	合計 m³	発生土埋戻	砂埋戻	残土
人力掘削工	人力	7.1		3.1	1.5	3.7
機械掘削工	バックホウ 0.13 m³	6.8		2.9	1.4	3.5
機械掘削工	バックホウ 0.28 m³					
機械掘削工	バックホウ 0.45 m³		13.9			

埋戻

平均掘削深 1.06

発生土
V= 13.9 −(0.416 × 0.64 + 0.20) × 0.79 × 18.50 = 6.0 m³

砂埋戻基礎工　上幅 0.62　下幅 0.60

砂埋戻
V= {(0.316×0.65) 0.785 × 0.216²} × 17.42 = 2.9 m³

砂埋戻　上幅 0.68　下幅 0.62

砂基礎工
V= 0.61 × 0.10 × 17.42 = 1.1 m³

残土
V= 13.9 −(6.0 ÷ 0.9)= 7.2 m³

管廻り埋戻高= 0.316
管外径 = 0.216
砂埋戻高 = 0.416
砂基礎高 = 0.10

三原市

塩ビ管管布設工(No.3)

素掘り　　(　24　)工区　補・単

管径 φ = 200 mm

現況表層厚 = 0.07 m　　道路幅員 = m　　復旧表層厚 = 0.07 m

現況路盤厚 = 0.10 m　(上下路盤)　　掘削幅 = 0.60 m　　復旧路盤厚 = 0.10 m

路線名	人孔番号	人孔間延長	人孔減長	掘削深	※掘削工の選定は、市指針参照。掘削土量 人力	BH 0.13m³	BH 0.28m³	BH 0.45m³	管延長	ゴム輪受け口片受け直管 (SRA)	プレーンエンド直管 (PE)	マンホール可とう継手	自在継手	備考(平均掘削幅)
		m	m	m	m³	m³	m³	m³	m	m	m	個	個	
2670	2670-5	9.00	0.17	1.05		6.7			8.55	8.0	0.55			0.71
	2670-6		0.29	1.12										
	計	9.00				6.7			8.55	8.0	0.55			

本管
プレーンエンド直管　0.545 ÷ 4.00 m/本 = 1 本
ゴム輪受け口片受直管　8.0 ÷ 4.00 m/本 = 2 本

土工

掘削

人力掘削工	人力	m³	合計	発生土埋戻	砂埋戻 1.4 / 残土 2.7
機械掘削工	バックホウ 0.13 m³	m³ 6.7		3.6	
機械掘削工	バックホウ 0.28 m³	m³			
機械掘削工	バックホウ 0.45 m³	m³	m³ 6.7		

埋戻

発生土
V= 6.7 −(0.416 × 0.64 + 0.10 × 0.80) × 9.00 = 3.6 m³

砂埋戻
V= {(0.316×0.65) 0.785 × 0.216² × 8.55 = 1.4 m³

砂基礎工
V= 0.61 × 0.10 × 8.55 = 0.5 m³

残土

V= 6.7 −(3.6 ÷ 0.9)= 2.7 m³

平均掘削深 1.05

砂埋戻 基礎工	上幅	0.62
	下幅	0.60
砂埋戻	上幅	0.68
	下幅	0.62

管廻り埋戻高 = 0.316
管外径 = 0.216
砂埋戻高 = 0.416
砂基礎高 = 0.10

三原市

塩ビ製小型マンホール　工集計表

（　24　）工区　補・単

名称	形状・寸法	数量内訳書 No.1	No.2	No.3			合計	単位	設計数量
鋳鉄製防護蓋	φ 428 mm T-25	2					2	組	
台座(沈下防止板)	φ 620 mm	2					2	組	
塩ビ製内蓋	φ 300 mm	2					2	個	
ドロップ用	90° 曲管 φ 200 mm							個	
	段差調整管 φ 100 mm× 4.00 m							m	
								本	
立管	ドロップ φ 300 mm× 4.00 m							m	
	一般 φ 300 mm× 4.00 m	1.211					1.211	m	
							1	本	
塩ビ製小型マンホール	KDR φ 300 mm							個	
	DR φ 300 mm							個	
	90° Y φ 300 mm							個	
	90WY φ 300 mm							個	
	WLS φ 300 mm							個	
	45° Y φ 300 mm	1					1	個	
	90° φ 300 mm	1					1	個	
	60° φ 300 mm							個	
	45° φ 300 mm							個	
	30° φ 300 mm							個	
	15° φ 300 mm							個	
	ST φ 300 mm							個	
	KT φ 300 mm							個	
	異径ソケットφ200×φ150	3					3	個	
削孔	VU 100 mm							箇所	
	VU 150 mm							箇所	
	VU 200 mm							箇所	

三原市

塩ビ製小型マンホール設置工 No.1

（ 24 ）工区　補・単

路線名	人孔番号	人孔深	流出管			流入管						防護蓋	台座	内蓋	DR用φ200		立管φ300		塩ビ製小型マンホール φ－300												
			管種	管径	管底高	管種	管径	管底高		異径ソケット					調整管	90° 曲管	一般	DR用	KT	ST	15°	30°	45°	60°	90°	45° Y	WLS	90WY	90° Y	DR	KDR
				mm	m		mm	m		個		組	組	個	m	個	m	m	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個
2670	2670-6	1.018	VU	200	12.512	VU	200	12.562		1		1	1	1			0.613								1						
2666	2666-3	1.003	VU	200	12.587	VU	200	12.637		1		1	1	1			0.598									1					
						VU	200	12.637		1																					
計							削孔	VU100		200×150	3	2	2	2			1.211							1	1						
								VU150																							
								VU200																							

三原市

取 付 管 工 集 計 表

(24)工区　補・単

名 称	形状・寸法	数量内訳書 No.1	数量内訳書 No.2				合計	単位	設計数量
取付管工	取付管箇所	2	2				4	箇所	
	取付管延長	2.60	4.40				7.00	m	
	平均取付管延長						1.75	m	
	プレーンエンド直管 φ150×4.00m	1.88	3.68				5.56	m	
							2	本	
	90° 可とう支管 φ150	1					1	個	
	60° 曲管 φ150 mm	1					1	個	
	30° 曲管 φ150 mm							個	
	SRB片受直管 φ150×0.80m	1					1	個	
	塩ビ製人孔用支管 φ150×300mm	1					1	個	
	可とうマンホール継手 φ150							個	
	自在管φ150	2	2				4	個	
	本管接続	1					1	箇所	
	マンホール接続							箇所	
	塩ビ製マンホール接続	1	3				4	箇所	
土工	人力掘削		1.7				1.7	m^3	
	機械掘削 BH 0.13 m^3	0.9					0.9	m^3	
	発生土埋戻し 人力		1.2				1.2	m^3	
	〃 BH 0.13 m^3	0.6					0.6	m^3	
	砂埋戻し・砂基礎 人力		0.5				0.5	m^3	
	〃 BH 0.13 m^3	0.2					0.2	m^3	
	残土処分 BH 0.13 m^3 2t車	0.2	0.4				0.6	m^3	
ます設置工	塩ビ製桝 φ 200 mm 1.5 m以下	2	2				4	箇所	
	鋳鉄製防護蓋 φ 200 mm用							箇所	
	塩ビ製密閉蓋 φ 200 mm用	2	2				4	箇所	

三原市

取　付　管　工(No. 1)

(　24　)工区　補・(単)

(現況舗装構成)
舗装表層 = 0.05 m
上層路盤 = 0.10 m
下層路盤 = m

道路幅員 = 〜 m
本管掘削幅 = m
取付管掘削 = 0.55 m

(復旧舗装構成)
舗装表層厚 = 0.05 m
上層路盤厚 = 0.10 m
下層路盤厚 = 0.10 m

φ 150 mm

路線名	数量 宅	数量 道	取付管延長	小計	本管土被	a 掘削深	b 掘削幅	c 掘削延長		a×b×c 掘削土量	本管接続	人孔接続	塩ビ人孔接続	塩ビ人孔用支管	可とう支管 90°	曲管 60°	PE直管	SRB	桝設置工 1.5m以下	鋳鉄製防護蓋	塩ビ製密閉蓋
	箇所		箇所×延長	m	m	m	m	m		m³	箇所	箇所	箇所	個	個	個	m		箇所	箇所	箇所
2670	右 1		1× 1.40	1.40	0.82	0.81 0.76	0.63	1.40−(0.36×1)=	1.04	0.5			1	1			1.04		1		1
	左 1		1× 1.20	1.20	0.82	0.81 0.76	0.63	1.20−(0.36×1)=	0.84	0.4	1				1	1	0.84	1	1		1
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
計	2			2.60					1.88	0.9	箇所 1	箇所	箇所 1	ケ 1	ケ 1	ケ 1	m 1.88	ケ 1	箇所 2	箇所	2

配管延長		m 2.60			
				プレーンエンド直管	m 1.88
掘削 人力		m³	発生土埋戻	0.9−(0.575×0.25×1.88)	m³ 0.6
掘削 BH0.28m³		m³ 0.9	砂・砂基礎埋戻	(0.575×0.25−0.15^2×0.785)×1.88	m³ 0.2
残土	0.9−(0.6÷0.9)	m³ 0.2		自在管 φ150	個 2

三原市

取　付　管　工(No. 2)

(24)工区 (補)・単

(現況舗装構成)
舗装表層 = 0.07 m
上層路盤 = 0.10 m
下層路盤 = m

道路幅員 = ～ m
本管掘削幅 = m
取付管掘削 = 0.55 m

(復旧舗装構成)
舗装表層厚 = 0.07 m
上層路盤厚 = 0.10 m
下層路盤厚 = m

φ 150 mm

路線名	数量 宅	数量 道	取付管延長	小計	本管土被	a 掘削深	b 掘削幅	c 掘削延長		a×b×c 掘削土量	本管接続	人孔接続	塩ビ人孔接続	塩ビ人孔用支管	可とう支管 90°	曲管 60°	PE直管	SRB	桝設置工 1.5m以下	鋳鉄製防護蓋	塩ビ製密閉蓋
	箇所		箇所×延長	m	m	m	m	m		m³	箇所	箇所	箇所	個	個	個	m		箇所	箇所	箇所
2666	右 1		1× 1.60	1.60	0.80	0.80 0.73	0.62	1.60-(0.36×1)=	1.24	0.6			1				1.24		1		1
	左 1		1× 2.80	2.80	0.80	0.80 0.73	0.62	2.80-(0.36×1)=	2.44	1.1			2				2.44		1		1
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
計	2			4.40					3.68	1.7	箇所	箇所	箇所 3	ケ	ケ	ケ	m 3.68	ケ	箇所 2	箇所	2

配管延長		m 4.40				m 3.68
				プレーンエンド直管		
掘削	人力	m³	発生土埋戻	1.7-(0.575×0.25×3.68)		m³ 1.2
	BH0.28m³	m³ 1.7	砂・砂基礎埋戻	(0.575×0.25-0.15^2×0.785)×3.68		m³ 0.5
残土				自在管 φ150		個 2
	1.7-(1.2÷0.9)	m³ 0.4				

三原市

付　帯　工　集　計　表

（　　24　　）工区　補・単

名　称	形状・寸法		数量内訳書					合計	単位	設計数量
			No.1	No.2	No.3	No.4				
	アスファルト切断工	t=15cmまで	37.0					37.0	m	
	舗装撤去工	(As)	26.6					26.6	m^2	
	舗装殻処分工	(As)	1.3					1.3	m^3	
	仮舗装工	As t=3cm	15.0		7.3			22.3	m^2	
	仮舗装撤去		15.0		7.3			22.3	m^2	
	仮舗装殻処分工		0.4		0.2			0.6	m^3	
	本舗装復旧工（全面幅）	密粒度As　t=5cm	26.6					26.6	m^2	
	上層路盤工	粒調砕石　t=12cm	15.0					15.0	m^2	
	下層路盤工	再生切込砕石 t=10cm	15.0					15.0	m^2	
	不陸整正		11.6		10.7			22.3	m^2	
	セメントコンクリート切断工				18.0			18.0	m	
	舗装撤去工	(Co)			18.0			18.0	m^2	
	舗装殻処分工	(Co)			1.3			1.3	m^3	
	舗装復旧工				18.0			18.0	m^2	
	路盤工	再生切込砕石 t=14cm			7.3			7.3	m^3	

三原市

塩ビ管管布設付帯工(No.1)

(24)工区　補・単

現況表層厚 =	0.05 m	道路幅員 =	m	復旧表層厚 =	0.05 m
現況路盤厚 =	0.10 m	掘削幅 =	m	復旧路盤厚 =	0.20 m

路線名	人孔番号	人孔間延長 (m)	平均掘削深 (m)	舗装切断工(アスファルト) t= 5 cm	m	路盤工 t= 10+12 cm A=掘削幅×延長	m^2	表層工 t= 5 cm A=復旧幅×延長	m^2
2670	2670-4 2670-5	9.00	1.07	9.00×2=	18.00	0.81×9.00=	7.29	2.00×9.00=	18.0
2666	2666-2 2666-3	9.50	1.05	9.50×2=	19.00	0.81×9.50=	7.7	0.90×9.50=	8.6
	計	18.50			37.00		14.99		26.6

アスファルト切断工				37.00 m
舗装撤去工				26.6 m^2
舗装殻処分工	t= 5 cm=	26.55 ×	0.05 =	1.3 m^3
仮舗装工				14.99 m^2
仮舗装撤去				14.99 m^2
仮舗装殻処分工	t= 3 cm=	14.99 ×	0.03 =	0.4 m^3
舗装復旧工				26.6 m^2
上層路盤工	t= 12 cm	粒調砕石		15.0 m^2
下層路盤工	t= 10 cm	再生切込砕石		15.0 m^2
不陸整正		26.6 − 14.99	=	11.6 m^2

三原市

塩ビ管管布設付帯工(No.3)

(　　24)工区　補・単

現況表層厚 =	0.07 m	道路幅員 =	m	復旧表層厚 =	0.07 m
現況路盤厚 =	0.10 m	掘削幅 =	0.60 m	復旧路盤厚 =	0.10 m

路線名	人孔番号	人孔間延長 (m)	平均掘削深 (m)	舗装切断工 (ｾﾒﾝﾄｺﾝｸﾘｰﾄ) t= 7 cm	m	路盤工 t= 14 cm A=掘削幅×延長	m^2	表層工 t= 7 cm A=復旧幅×延長	m^2
2670	2670-5 2670-6	9.00	1.05	9.00×2=	18.00	0.81×9.00=	7.29	2.00×9.00=	18.0
	計	9.00			18.00		7.29		18.0

ｾﾒﾝﾄｺﾝｸﾘｰﾄ切断工			18.00 m
舗装撤去工			18.0 m^2
舗装殻処分工	t= 7 cm=	18 × 0.07 =	1.3 m^3
仮舗装工			7.29 m^2
仮舗装撤去			7.29 m^2
仮舗装殻処分工	t= 3 cm=	7.29 × 0.03 =	0.2 m^3
舗装復旧工			18.0 m^2
上層路盤工	t= cm		m^2
路盤工	t= 14 cm	再生切込砕石	7.3 m^2
不陸整正		18.0 − 7.29 =	10.7 m^2

取 付 管 布 設 付 帯 工 集 計 表

(24)工区　　補・(単)

名　称	形状・寸法	数量内訳書 As	数量内訳書 Co			合計	単位	設計数量
付　帯　工	舗装切断工(As)　t≦20cm	1.00				1.00	m	
	舗装切断工(Co)　t≦20cm		4.60			4.60	m	
	舗装版破砕工(As)　t=10cm以下(現況)	0.35				0.35	m^2	
	〃　t=10cm以下(仮舗)	0.35	1.61			1.96	m^2	
	舗装版破砕工(Co)　t=7cm以下(現況)		1.61			1.61	m^2	
	殻運搬処理(As)　(現況)	0.01				0.01	m^3	
	〃　(仮舗)	0.01	0.05			0.06	m^3	
	殻運搬処理(Co)　(現況)		0.16			0.16	m^3	
	表層工(本舗装)　再生密粒度アスコン t= 5 cm						m^2	
	表層工(仮舗装)　再生粗粒度アスコン t= 3 cm	0.35	1.61			1.96	m^2	
	表層工(本舗装)　ｾﾒﾝﾄｺﾝｸﾘｰﾄ t= 7 cm		1.61				m^2	
	下層路盤工(車道)　再生切込砕石 t= 10 cm	0.35				0.35	m^2	
	上層路盤工(車道)　粒調砕石 t= 12 cm	0.35				0.35	m^2	
	路盤工(車道)　再生切込砕石 t= 14 cm		1.61			1.61	m^2	

三原市

取 付 管 布 設 付 帯 工(No.1)

(24-工区 補・単)

現況表層厚 = 0.05 m　道路幅員 = m　復旧表層厚 = 0.05 m
現況路盤厚 = 0.10 m　掘削幅 = m　復旧路盤厚 = 0.20 m

路線名	人孔番号	舗装延長 (m)	本管掘削幅 (m)	掘削深 (m)	取付箇所	舗装切断工(アスファルト) t= 5 cm	m	路盤工 t= 20 cm A=掘削幅×延長	m^2	表層工 t= 5 cm A=復旧幅×延長	m^2
2670		1.40	0.60	0.76	1	(1.40-1.30)×1×2=	0.20	0.70×1×(1.40-1.30)=	0.07		
		1.20	0.60	0.76	1	(1.20-0.80)×1×2=	0.80	0.70×1×(1.20-0.80)=	0.28		
	計						1.00		0.35		

(アスファルト)

アスファルト切断	15 cm		1.00 m
上層路盤工	12 cm	粒調砕石	0.4 m2
下層路盤工	10 cm	再生切込砕石	0.4 m2
仮舗装工	3 cm		0.4 m2
仮舗装撤去			0.4 m2
仮舗装殻処分工 t=	3 cm=	0.35 ×	0.03 = 0.01 m^3

三原市

取 付 管 布 設 付 帯 工(No.2)

(24)工区 補 (単)

現況表層厚 = 0.07 m　道路幅員 = m　復旧表層厚 = 0.07 m
現況路盤厚 = 0.10 m　掘削幅 = m　復旧路盤厚 = 0.10 m

路線名	人孔番号	舗装延長 (m)	本管掘削幅 (m)	掘削深 (m)	取付箇所	舗装切断工(コンクリート) t= 7 cm	m	路盤工 t= 10 cm A=掘削幅×延長	m^2	表層工 t= 7 cm A=復旧幅×延長	m^2
2666		1.60	0.60	0.73	1	(1.60-0.80)×1×2=	1.60	0.70×1×(1.60-0.80)=	0.56		
		2.80	0.60	0.73	1	(2.80-1.30)×1×2=	3.00	0.70×1×(2.80-1.30)=	1.05		
	計						4.60		1.61		

(コンクリート)

セメントコンクリート切断	7 cm		4.60 m
上層路盤工	12 cm	粒調砕石	m2
路盤工	14 cm	再生切込砕石	1.61 m2
仮舗装工	3 cm		1.61 m2
仮舗装撤去			1.61 m2
仮舗装殻処分工 t=	3 cm=	1.61 ×	0.03 = 0.05 m^3

三原市

1. 数 量 計 算 書

中之町（三原東処理分区）

補助工区　（その24）

塩 ビ 管 管 布 設 工 集 計 表

（ 24 ）工区 (補)・単

名 称	形状・寸法	数量内訳書 No.1	No.2	No.3	No.4		合計	単位	設計数量
管路土工	管 路 掘 削 人力	7.2	13.1	20.5			40.8	m^3	
	管 路 埋 戻（発生土） 人力	3.4	8.7	14			26.1	m^3	
	管 路 埋 戻（砂） 人力	1.5	1.6	4			7.1	m^3	
	発生土処理 人力 2 t車	3.7	3.4	4.9			12	m^3	
	管 路 掘 削 BH 0.13 m^3							m^3	
	管 路 埋 戻（発生土） BH 0.13 m^3							m^3	
	管 路 埋 戻（砂） BH 0.13 m^3							m^3	
	発生土処理 BH 0.13 m^3 2 t車							m^3	
	管 路 掘 削 BH 0.28 m^3							m^3	
	管 路 埋 戻（発生土） BH 0.28 m^3							m^3	
	管 路 埋 戻（砂） BH 0.28 m^3							m^3	
	発生土処理 BH 0.28 m^3 4 t車							m^3	
	管 路 掘 削 BH 0.45 m^3	6.6					6.6	m^3	
	管 路 埋 戻（発生土） BH 0.45 m^3	2.9					2.9	m^3	
	管 路 埋 戻（砂） BH 0.45 m^3	1.3					1.3	m^3	
	発生土処理 BH 0.45 m^3 10 t車	3.1					3.1	m^3	
管 基 礎 工	砂 基 礎	1.0	0.6	1.4			3	m^3	
	砂基礎延長	16.5	6.2	23.54			46.205	m	
管 布 設 工	路 線 延 長	17.50	7.50	24.50			49.50	m	
	管 体 延 長	16.51	6.16	23.54			46.21	m	
	ゴム輪受け口片受直管 φ 200 mm×4.00m	3		5			8	本	
	プレーンエンド直管 φ 200 mm×4.00m	2	2	1			5	本	
	可とう継手 φ 200 mm	1	2				3	個	
	自在継手 φ 200 mm	3		2			5	個	
	副管用マンホール継手 φ 200 mm×1.00m							個	
	上流用マンホール継手 φ 200 mm×0.50m							個	
	内副管用T字継手 φ 200 mm×1.00m							個	
	塩ビ人孔用くら型継手300-200	1		1			2	個	

三原市

塩ビ管管布設工(No.1)

素掘り　　(　24　)工区　補・単

管径 φ =	200 mm				
現況表層厚 =	0.05 m	道路幅員 =	m	復旧表層厚 =	0.05 m
現況路盤厚 =	0.10 m (上下路盤)	掘削幅 =	0.60 m	復旧路盤厚 =	0.20 m

路線名	人孔番号	人孔間延長	人孔減長	掘削深	※掘削工の選定は、市指針参照。掘削土量 人力	BH 0.13m³	BH 0.28m³	BH 0.45m³	管延長	ゴム輪受け片受け直管口 (SRA)	プレーンエンド直管 (PE)	可とう継手マンホール	自在継手	備考(平均掘削幅)
		m	m	m	m³	m³	m³	m³	m	m	m	個	個	
2670	2670-3	8.00	0.18	1.15				6.6	7.37	4.0	3.24	1	1	0.72
	2670-4		0.45	1.20										
2666	2666-1	9.50	0.20	1.07	7.2				9.14	8.0	0.88		2	0.71
	2666-2		0.17	1.12										
	計	17.50			7.2			6.6	16.51	12.0	4.12	1	3	

本管
プレーンエンド直管　4.115 ÷ 4.00 m/本= 2 本　塩ビ人孔用くら型継手300-200
ゴム輪受け口片受直管　12.0 ÷ 4.00 m/本= 3 本　1 個

土工

掘削

		m³		発生土埋戻	砂埋戻	残土
人力掘削工	人力	7.2	合計	3.4	1.5	3.7
機械掘削工	バックホウ 0.13 m³					
機械掘削工	バックホウ 0.28 m³					
機械掘削工	バックホウ 0.45 m³	6.6	13.8	2.9	1.3	3.1

埋戻

平均掘削深 1.11

発生土	V= 13.8 −(0.416 × 0.64 + 0.20) × 0.80 × 17.50 =	m³	6.3	砂埋戻 基礎工 上幅 0.62 / 下幅 0.60
砂埋戻	V= {(0.316×0.65) 0.785 × 0.216²} × 16.51 =	m³	2.8	砂埋戻 上幅 0.68 / 下幅 0.62
砂基礎工	V= 0.61 × 0.10 × 16.51	m³	1.0	
残土	V= 13.8 −(6.3 ÷ 0.9)=	m³	6.8	

管廻り埋戻高= 0.316
管外径 = 0.216
砂埋戻高 = 0.416
砂基礎高 = 0.10

三原市

塩ビ管管布設工(No.2)

矢板施工

24)工区 (補)・単

管径 φ =	200	mm							
現況表層厚 =	0.05	m		道路幅員 =		m	復旧表層厚=	0.05	m
現況路盤厚 =	0.10	m	(上下路盤)	掘削幅 =	0.95	m	復旧路盤厚=	0.20	m

路線名	人孔番号	人孔間延長	人孔減長	掘削深	※掘削工の選定は、市指針参照。掘削土量 人力	BH 0.13m³	BH 0.28m³	BH 0.45m³	管延長	ゴム輪受け口片受け直管 (SRA)	プレーンエンド直管 (PE)	マンホール可とう継手	自在継手	備考(平均掘削幅)
		m	m	m	m³	m³	m³	m³	m	m	m	個	個	
2670	2671	4.00	0.38	1.86	7.1				3.33		3.33	1		0.95
	2670-1		0.29	1.91										
2666	2667-4	3.50	0.38	1.79	6.0				2.83		2.83	1		0.95
	2666-1		0.29	1.84										
	計	7.50			13.1				6.16		6.16	2		

本管
プレーンエンド直管 6.16 ÷ 4.00 m/本= 2 本
ゴム輪受け口片受直管 ÷ 4.00 m/本= 本

土工

掘削

人力掘削工	人力	m³ 13.1	合計	発生土埋戻 8.7	砂埋戻 1.6	残土 3.4
機械掘削工	バックホウ 0.13 m³	m³				
機械掘削工	バックホウ 0.28 m³	m³				
機械掘削工	バックホウ 0.45 m³	m³	m³ 13.1			

埋戻

発生土
V= 13.1 −(0.416 × 0.95
+ 0.20 × 0.95
) × 7.50 = 8.7 m³

砂埋戻
V= {(0.316×0.95) 0.785 × 0.216 ²} × 6.16 = 1.6 m³

砂基礎工
V= 0.95 × 0.10 × 6.16 = 0.6 m³

残土
V= 13.1 −(8.7 ÷ 0.9)= 3.4 m³

平均掘削深 1.83

砂埋戻基礎工	上幅	0.95
	下幅	0.95
砂埋戻	上幅	0.95
	下幅	0.95

管廻り埋戻高= 0.316
管外径 = 0.216
砂埋戻高 = 0.416
砂基礎高 = 0.10

三原市

塩ビ管管布設工(No.3)

素掘り　　(　24　)工区　(補)・単

管径 φ = 200 mm

現況表層厚 = m　　道路幅員 = m　　復旧表層厚 = m

現況路盤厚 = m　(上下路盤)　　掘削幅 = 0.60 m　　復旧路盤厚 = m

路線名	人孔番号	人孔間延長	人孔減長	掘削深	※掘削工の選定は、市指針参照。掘削土量 人力	BH 0.13m³	BH 0.28m³	BH 0.45m³	管延長	ゴム輪受け口片受け直管 (SRA)	プレーンエンド直管 (PE)	マンホール可とう継手	自在継手	備考(平均掘削幅)
		m	m	m	m³	m³	m³	m³	m	m	m	個	個	
2670	2670-1 2670-2	13.50	0.20 0.29	1.14 1.14	10.9				13.01	12.0	0.88		1	0.71
	2670-2 2670-3	11.00	0.18 0.29	1.21 1.21	9.6				10.53	8.0	2.40		1	0.72
	計	24.50			20.5				23.54	20.0	3.28		2	

本管　プレーンエンド直管 3.28 ÷ 4.00 m/本= 1 本　　塩ビ人孔用くら型継手300-200

ゴム輪受け口片受直管 20.0 ÷ 4.00 m/本= 5 本　　1 個

土工

掘削

		m³		発生土埋戻	砂埋戻	残土
人力掘削工	人力	20.5	合計	14.0	4.0	4.9
機械掘削工	バックホウ 0.13 m³					
機械掘削工	バックホウ 0.28 m³					
機械掘削工	バックホウ 0.45 m³		20.5			

埋戻

発生土　V= 20.5 −(0.416 × 0.64 +) × 0.83 × 24.50 = 14.0 m³

砂埋戻　V= {(0.316×0.65) 0.785 × 0.216 ²} × 23.54 = 4.0 m³

砂基礎工　V= 0.61 × 0.10 × 23.54 = 1.4 m³

残土

V= 20.5 −(14.0 ÷ 0.9)= 4.9 m³

平均掘削深 1.17

砂埋戻基礎工	上幅	0.62
	下幅	0.60
砂埋戻	上幅	0.68
	下幅	0.62

管廻り埋戻高= 0.316
管 外 径 = 0.216
砂 埋 戻 高 = 0.416
砂 基 礎 高 = 0.10

三原市

土 留 工 集 計 表

(24)工区 (補)・単

名 称	形状・寸法	数量内訳書 No. 1	No. 2	No. 3	No. 4		合計	単位	設計数量
	建込簡易土留工 H=2.00m							m	
	建込簡易土留工 H=2.50m							m	
	建込簡易土留工 H=3.00m							m	
	建込簡易土留工 H=3.50m							m	
	軽量鋼矢板建込工(1段) H=2.00m							m	
	軽量鋼矢板建込工(1段) H=2.50m		7.5				7.5	m	
	軽量鋼矢板建込工(2段) H=2.50m							m	
	軽量鋼矢板建込工(2段) H=3.00m							m	

塩ビ管管布設土留工(No.2)

路線名	人孔番号	人孔間延長	掘削深	素掘	建込簡易土留工				軽量鋼矢板建込工			
		m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m
					L-2.00	L-2.50	L-3.00	L-3.50	L-2.00	L-2.50	L-2.50	L-3.00
									1段	1段	2段	2段
名	号	m			m	m	m	m	m	m	m	m
2670	2671 2670-1	4.00	1.91							4.00		
2666	2667-4 2666-1	3.50	1.84							3.50		
計										7.50		

建込簡易土留工	H=2.0m2		
建込簡易土留工	H=2.5m2		
建込簡易土留工	H=3.0m2		
建込簡易土留工	H=3.5m2		
軽量鋼矢板建込工	H=2.0m2		
軽量鋼矢板建込工	H=2.5m2	7.50	
軽量鋼矢板建込工	H=2.5m2		
軽量鋼矢板建込工	H=3.0m2		

三　原　市

1号組立人孔設置工数量総括表

		形状寸法	No.1	No.2	No.3		数量	単位	摘要
躯体材料	人孔鉄蓋	T-25（転落防止）						組	
	人孔鉄蓋	T-25（一般）	2				2	組	
	マンホール蓋固定工	調整高	0.03				0.03	m	
	調整リング	600×200	1				1		
	調整リング	600×150						個	
	調整リング	600×100	1				1	個	
	調整リング	600×50						個	
	斜壁	600/900 ×600						個	
	斜壁	600/900 ×450						個	
	斜壁	600/900 ×300	2				2	個	
	直壁	900×1500						個	
	直壁	900×1200						個	
	直壁	900×900						個	
	直壁	900×600						個	
	直壁	900×300						個	
	く体ブロック	900×1800						個	
	く体ブロック	900×1500	1				1	個	
	く体ブロック	900×1200						個	
	く体ブロック	900×900						個	
	く体ブロック	900×600	1				1	個	
	底版		2				2	個	
施工	ブロック据付工	2.0m以下	2				2	箇所	
	ブロック据付工	3.0m以下						箇所	
	ブロック据付工	4.0m以下						箇所	
	削孔工	φ200	2				2	箇所	
	削孔工	φ150	2				2	箇所	
	底部工		2				2	箇所	
	底部工(インバートなし)							箇所	
	インバート工							箇所	
	副管工	1m未満	2				2	箇所	
		1.0m～1.5m						箇所	
		1.5m～2.0m						箇所	
	半割管							箇所	

組立　1　号マンホール設置工　No.1

（　24　）工区　(補)・単

路線名	人孔番号	人孔深	流出管 管種	流出管 管径 mm	流出管 管底高 m	流入管 管種	流入管 管径 mm	流入管 管底高 m	流入管 削孔	副管 管径 mm	副管 段差 m	鉄蓋 一般 組	鉄蓋 転落防止 組	受枠変形防止金具 個	調整高 H	調整リング 600 50 個	調整リング 600 100 個	調整リング 600 150 個	調整リング 600 200 個	斜壁ブロック φ600/φ900 300 個	斜壁ブロック φ600/φ900 450 個	斜壁ブロック φ600/φ900 600 個	床版斜壁 150 個	直壁ブロック φ900 300 個	直壁ブロック φ900 600 個	直壁ブロック φ900 900 個	直壁ブロック φ900 1200 個	直壁ブロック φ900 1500 個	直壁ブロック φ900 1800 個	躯体ブロック φ900 600 個	躯体ブロック φ900 900 個	躯体ブロック φ900 1200 個	躯体ブロック φ900 1500 個	躯体ブロック φ900 1800 個	底版 個
2670	2670-4	車道 1.052	VU	200	11.988	VU	200	12.008	1			1		1	0.012				1	1										1					1
2668	2668-1	車道 1.863	VU	200	11.147	VU	200	11.810	1	150	0.663	1		1	0.023		1			1													1		1
計								VU50		箇所		2		2	0.035		1		1	2									1			1		2
							削孔	VU75		箇所																									
								VU200	2	箇所																									

ブロック据付	2.0m以下	2	箇所	副管工	1m未満	2 半割管	m	1箇所当り	インバートコンクリート 0.18 m³
	2.0～3.0m以下		箇所		1.0m～1.5m		箇所		モルタル上塗り 0.84 m²
	3.0～4.0m以下		箇所		1.5m～2.0m				砕石基礎 0.95 m²

三原市

塩ビ製小型マンホール　工集計表

（　24　）工区　（補）・単

名称	形状・寸法	数量内訳書 No.1	No.2	No.3			合計	単位	設計数量
鋳鉄製防護蓋	φ 428 mm T-25	4					4	組	
台座(沈下防止板)	φ 620 mm	4					4	組	
塩ビ製内蓋	φ 300 mm	4					4	個	
ドロップ用	90° 曲管 φ 200 mm							個	
	段差調整管 φ 100 mm× 4.00 m							m	
								本	
立管	ドロップ φ 300 mm× 4.00 m							m	
	一般 φ 300 mm× 4.00 m	4.134					4.134	m	
							2	本	
塩ビ製小型マンホール	KDR φ 300 mm							個	
	DR φ 300 mm							個	
	90° Y φ 300 mm							個	
	90WY φ 300 mm							個	
	WLS φ 300 mm							個	
	45° Y φ 300 mm							個	
	90° φ 300 mm							個	
	60° φ 300 mm							個	
	45° φ 300 mm							個	
	30° φ 300 mm							個	
	15° φ 300 mm							個	
	ST φ 300 mm	2					2	個	
	KT φ 300 mm	2					2	個	
	異径ソケットφ200×φ150							個	
削孔	VU 100 mm							箇所	
	VU 150 mm							箇所	
	VU 200 mm	2					2	箇所	

三原市

塩ビ製小型マンホール設置工 No.1

（ 24 ）工区 (補)・単

路線名	人孔番号	人孔深	流出管			流入管						防護蓋	台座	内蓋	DR用φ200		立管φ300		塩ビ製小型マンホール φ－300												
			管種	管径	管底高	管種	管径	管底高		異径ソケット					調整管	90° 曲管	一般	DR用	KT	ST	15°	30°	45°	60°	90°	45° Y	WLS	90WY	90° Y	DR	KDR
				mm	m		mm	m		個		組	組	個	m	個	m	m	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個
2670	2670-1	1.841	VU	200	10.699	VU	200	11.539	1			1	1	1			1.436		1												
2670	2670-2	1.066	VU	200	11.634	VU	200	11.634				1	1	1			0.661			1											
2670	2670-3	1.136	VU	200	11.964	VU	200	11.964				1	1	1			0.731			1											
2666	2666-1	1.711	VU	200	11.779	VU	200	12.453	1			1	1	1			1.306		1												
計							削孔	VU100		200×150		4	4	4			4.134		2	2											
								VU150																							
								VU200	2																						

三原市

取 付 管 工 集 計 表

(24)工区　補・単

名 称	形状・寸法	数量内訳書 No.1	数量内訳書 No.2				合計	単位	設計数量
取付管工	取付管箇所	2	3				5	箇所	
	取付管延長	7.00	4.80				11.80	m	
	平均取付管延長						2.36	m	
	プレーンエンド直管 φ150×4.00m	6.28	3.72				10.00	m	
							3	本	
	90° 可とう支管 φ150	2	3				5	個	
	60° 曲管 φ150 mm	2	3				5	個	
	30° 曲管 φ150 mm							個	
	SRB片受直管 φ150×0.80m	2	3				5	個	
	塩ビ製人孔用支管 φ150×300mm							個	
	可とうマンホール継手 φ150							個	
	自在管φ150	2	3				5	個	
	本管接続	2	3				5	箇所	
	マンホール接続							箇所	
	塩ビ製マンホール接続							箇所	
土工	人力掘削							m^3	
	機械掘削 人力	3.1	1.9				5.0	m^3	
	発生土埋戻し							m^3	
	〃 人力	2.2	1.4				3.6	m^3	
	砂埋戻し・砂基礎							m^3	
	〃 人力	0.8	0.5				1.3	m^3	
	残土処分 BH 0.13 m^3 2t車	0.7	0.3				1	m^3	
ます設置工	塩ビ製桝 φ 200 mm 1.5 m以下	2	3				5	箇所	
	鋳鉄製防護蓋 φ 200 mm用	2	1				3	箇所	
	塩ビ製密閉蓋 φ 200 mm用		2				2	箇所	

三原市

取　付　管　工(No. 1)

(24)工区 (補)・単

(現況舗装構成)
舗装表層 = 0.05 m
上層路盤 = 0.10 m
下層路盤 = m

道路幅員 = ～ m
本管掘削幅 = m
取付管掘削 = 0.55 m

(復旧舗装構成)
舗装表層厚 = 0.05 m
上層路盤厚 = 0.10 m
下層路盤厚 = 0.10 m

φ 150 mm

路線名	数量 宅	数量 道	取付管延長	小計	本管土被	a 掘削深	b 掘削幅	c 掘削延長		a×b×c 掘削土量	本管接続	人孔接続	塩ビ人孔接続	塩ビ人孔用支管	可とう支管 90°	曲管 60°	PE直管	SRB	桝設置工 1.5m以下	鋳鉄製防護蓋	塩ビ製密閉蓋
	箇所		箇所×延長	m	m	m	m	m		m³	箇所	箇所	箇所	個	個	個	m		箇所	箇所	箇所
2670	右	1	1× 1.40	1.40	0.90	0.85 0.8	0.63	1.40-(0.36×1)=	1.04	0.5	1				1	1	1.04	1	1	1	
	左	1	1× 5.60	5.60	0.90	0.85 0.80	0.63	5.60-(0.36×1)=	5.24	2.6	1				1	1	5.24	1	1	1	
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
計		2		7.00					6.28	3.1	箇所 2	箇所	箇所	ケ	ケ 2	ケ 2	m 6.28	ケ 2	箇所 2	箇所 2	

配管延長		m 7.00			
				プレーンエンド直管	m 6.28
掘削 人力		m³	発生土埋戻	3.1-(0.575×0.25×6.28)	m³ 2.2
掘削 BH0.28m³		m³ 3.1	砂・砂基礎埋戻	(0.575×0.25-0.15^2×0.785)×6.28	m³ 0.8
残土	3.1-(2.2÷0.9)	m³ 0.7		自在管 φ150	個 2

三原市

取　付　管　工(No. 2)

(24)工区 (補)・単

(現況舗装構成)
舗装表層 = m
上層路盤 = m
下層路盤 = m

道路幅員 = ～ m
本管掘削幅 = m
取付管掘削 = 0.55 m

(復旧舗装構成)
舗装表層厚 = m
上層路盤厚 = m
下層路盤厚 = m

φ 150 mm

路線名	数量 宅	数量 道	取付管延長	小計	本管土被	a 掘削深	b 掘削幅	c 掘削延長		a×b×c 掘削土量	本管接続	人孔接続	塩ビ人孔接続	塩ビ人孔用支管	可とう支管 90°	曲管 60°	PE直管	SRB	桝設置工 1.5m以下	鋳鉄製防護蓋	塩ビ製密閉蓋
	箇所		箇所×延長	m	m	m	m	m		m³	箇所	箇所	箇所	個	個	個	m		箇所	箇所	箇所
2670	右 1		1× 1.40	1.40	0.84	0.82 0.82	0.63	1.40- (0.36 ×1)=	1.04	0.5	1				1	1	1.04	1	1		1
	左 1	1	2× 1.70	3.40	0.88	0.84 0.84	0.63	3.40- (0.36 ×2)=	2.68	1.4	2				2	2	2.68	2	2	1	1
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
計	2	1		4.80					3.72	1.9	箇所 3	箇所	箇所	ケ	ケ 3	ケ 3	m 3.72	ケ 3	箇所 3	箇所 1	2

配管延長		m 4.80				
				プレーンエンド直管		m 3.72
掘削	人力	m³	発生土埋戻	1.9-(0.575×0.25×3.72)		m³ 1.4
	BH0.28m³	m³ 1.9	砂・砂基礎埋戻	(0.575×0.25-0.15^2×0.785)×3.72		m³ 0.5
残土				自在管 φ150		個 3
	1.9-(1.4÷0.9)	m³ 0.3				

三原市

付　帯　工　集　計　表

（　　24　　）工区　補・単

名　称	形状・寸法		数量内訳書					合計	単位	設計数量
			No.1	No.2	No.3	No.4				
	アスファルト切断工	t=15cmまで	35.0	15.0				50.0	m	
	舗装撤去工		44.4	8.6				52.9	m^2	
	舗装殻処分工		2.2	0.4				2.6	m^3	
	仮舗装工	As t=3cm	14.3	7.1				21.5	m^2	
	仮舗装撤去		14.3	7.1				21.5	m^2	
	仮舗装殻処分工		0.4	0.2				0.6	m^3	
	本舗装復旧工（全面幅）	密粒度As　t=5cm	44.4	8.6				52.9	m^2	
	上層路盤工	粒調砕石　t=12cm	14.3	7.1				21.5	m^2	
	下層路盤工	再生切込砕石 t=10cm	14.3	7.1				21.5	m^2	
	不陸整正		30.1	1.4				31.5	m^2	

三原市

塩ビ管管布設付帯工(No.1)

(24)工区　(補)・単

現況表層厚 =	0.05 m	道路幅員 =	m	復旧表層厚 =	0.05 m
現況路盤厚 =	0.10 m	掘削幅 =	m	復旧路盤厚 =	0.20 m

路線名	人孔番号	人孔間延長 (m)	平均掘削深 (m)	舗装切断工(アスファルト) t= 5 cm	m	路盤工 t= 10+12 cm A=掘削幅×延長	m^2	表層工 t= 5 cm A=復旧幅×延長	m^2
2670	2670-3 2670-4	8.00	1.15	8.00×2=	16.00	0.83×8.00=	6.64	4.48×8.00=	35.8
2666	2666-1 2666-2	9.50	1.07	9.50×2=	19.00	0.81×9.50=	7.7	0.90×9.50=	8.6
	計	17.50			35.00		14.34		44.4

アスファルト切断工				35.00 m
舗装撤去工				44.4 m^2
舗装殻処分工	t= 5 cm=	44.39 ×	0.05 =	2.2 m^3
仮舗装工				14.34 m^2
仮舗装撤去				14.34 m^2
仮舗装殻処分工	t= 3 cm=	14.34 ×	0.03 =	0.4 m^3
舗装復旧工				44.4 m^2
上層路盤工	t= 12 cm	粒調砕石		14.3 m^2
下層路盤工	t= 10 cm	再生切込砕石		14.3 m^2
不陸整正		44.4 − 14.34	=	30.1 m^2

三原市

塩ビ管管布設付帯工(No.2)

(24)工区 (補)・単

現況表層厚 =	0.05 m	道路幅員 =	m	復旧表層厚 =	0.05 m
現況路盤厚 =	0.10 m	掘削幅 =	0.95 m	復旧路盤厚 =	0.20 m

路線名	人孔番号	人孔間延長 (m)	平均掘削深 (m)	舗装切断工(アスファルト) t= 5 cm	m	路盤工 t= 10+12 cm A=掘削幅×延長	m^2	表層工 t= 5 cm A=復旧幅×延長	m^2
2670	2671 2670-1	4.00	1.86	4.00×2=	8.00	0.95×4.00=	3.8	1.35×4.00=	5.4
2666	2667-4 2666-1	3.50	1.79	3.50×2=	7.00	0.95×3.50=	3.33	0.90×3.50=	3.2
	計	7.50			15.00		7.13		8.6

アスファルト切断工				15.00 m
舗装撤去工				8.6 m^2
舗装殻処分工	t= 5 cm=	8.55 ×	0.05 =	0.4 m^3
仮舗装工				7.13 m^2
仮舗装撤去				7.13 m^2
仮舗装殻処分工	t= 3 cm=	7.13 ×	0.03 =	0.2 m^3
舗装復旧工				8.6 m^2
上層路盤工	t= 12 cm	粒調砕石		7.1 m^2
下層路盤工	t= 10 cm	再生切込砕石		7.1 m^2
不陸整正		8.6 −	7.13 =	1.4 m^2

三原市

取 付 管 布 設 付 帯 工 集 計 表

(24)工区　　(補)・単

名　称	形状・寸法	数量内訳書				合計	単位	設計数量
		As	Co					
付　帯　工	舗装切断工(As)　t≦20cm	8.80				8.80	m	
	舗装切断工(Co)　t≦20cm					0.00	m	
	舗装版破砕工(As)　t=10cm以下(現況)	3.12				3.12	m^2	
	〃　t=10cm以下(仮舗)	3.12				3.12	m^2	
	舗装版破砕工(Co)　t=7cm以下(現況)					0.00	m^2	
	殻運搬処理(As)　(現況)	0.1				0.10	m^3	
	〃　(仮舗)	0.1				0.10	m^3	
	殻運搬処理(Co)　(現況)					0.00	m^3	
	表層工(本舗装)　再生密粒度アスコン t= 5 cm						m^2	
	表層工(仮舗装)　再生粗粒度アスコン t= 3 cm	3.12				3.12	m^2	
	表層工(本舗装)　ｾﾒﾝﾄｺﾝｸﾘｰﾄ t= 7 cm						m^2	
	下層路盤工(車道)　再生切込砕石 t= 10 cm	3.12				3.12	m^2	
	上層路盤工(車道)　粒調砕石 t= 12 cm	3.12				3.12	m^2	
	路盤工(車道)　再生切込砕石 t= 14 cm						m^2	

三原市

取 付 管 布 設 付 帯 工

(24ｲ工区 (補)・単

現況表層厚 = 0.05 m　道路幅員 = m　復旧表層厚 = 0.05 m
現況路盤厚 = 0.10 m　掘削幅 = m　復旧路盤厚 = 0.20 m

路線名	人孔番号	舗装延長 (m)	本管掘削幅 (m)	掘削深 (m)	取付箇所	舗装切断工(アスファルト) t= 5 cm	m	路盤工 t= 20 cm A=掘削幅×延長	m^2	表層工 t= 5 cm A=復旧幅×延長	m^2
2670		1.40	0.60	0.80	1	(1.40-1.30)×1×2=	0.20	0.71×1×(1.40-1.30)=	0.07		
		5.60	0.60	0.80	1	(5.60-1.30)×1×2=	8.60	0.71×1×(5.60-1.30)=	3.05		
	計						8.80		3.12		

(アスファルト)

アスファルト切断	15 cm		8.80 m
上層路盤工	12 cm	粒調砕石	3.1 m2
下層路盤工	10 cm	再生切込砕石	3.1 m2
仮舗装工	3 cm		3.1 m2
仮舗装撤去			3.1 m2
仮舗装殻処分工 t=	3 cm=	3.12 ×	0.03 = 0.1 m^3

三原市

位 置 図

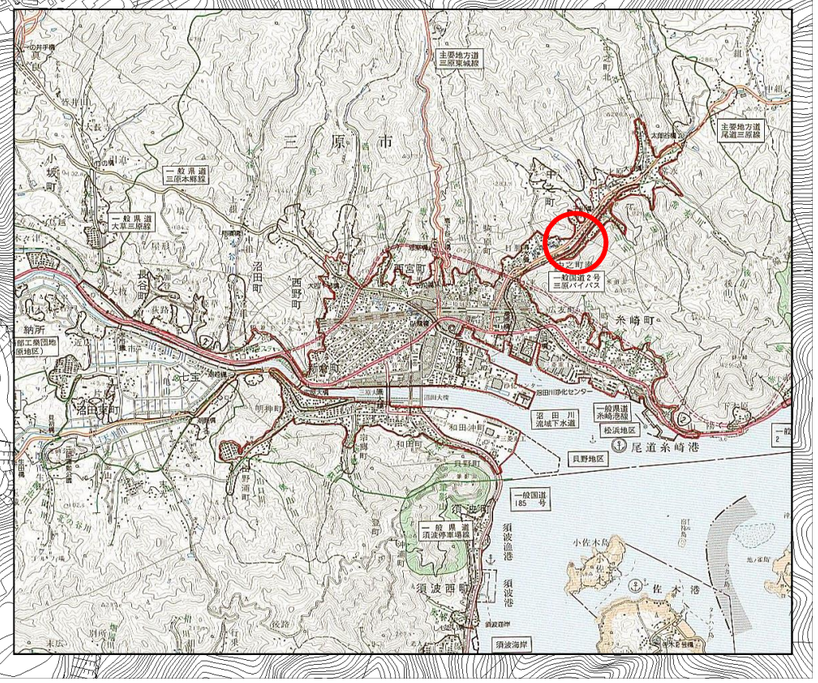
N

施工箇所

主要地方道尾道三原線

県立三原東高校

市立第二中学校

和久原川

三原バイパス